

○明治四十三年撰科

石川師教諭 (教育、化學) 後藤源太郎(山形)
 (死亡)(農學、植物) 城本 櫻(熊本)
 山口德基高女教諭(農學、植物) 山下 莞爾(熊本)
 朝鮮京城道南陽普通(農學) 山下傳三郎(京都)
 校長兼簡易農校長(植物)
 ○明治四十三年本
 十二月卒業本
 數學化學科
 (死亡) 淺沼喬(東京)

(以上物理化學ヲ主トスルモノ)

○明治四十四年撰科(二箇年課程)

埼玉縣理事官
 東京青山師教諭
 東京高師訓導
 滋賀師教諭
 佐賀師教諭附屬小主事
 北海道室蘭中教諭
 東京東京市本橋尋小訓導
 △伊藤昌庸(山形)
 △上加世田成吉(鹿兒島)
 △二宮文右衛門(愛媛)
 △新帶國太郎(愛知)
 △福田源藏(熊本)
 △福山惟吉(熊本)
 △松原久安(鳥取)

○明治四十四年撰科(一箇年課程)

東京高師講師
 東京アルカリ工業
 株式會社技師長
 秋田師教諭
 朝鮮京城女高普通教諭兼主事
 京都何鹿女實業教諭兼校長
 愛知岡崎高女教諭
 沖繩縣視學
 宮城師教諭
 東京高師講師
 京都府教育會附屬教養講師
 朝鮮京城中教諭
 滋賀彦根中教諭
 東京高師教諭
 ○明治四十四年本
 三月卒業本
 科
 ○青木常雄(茨城)
 ○青山新一(岐阜)
 ○相澤留五郎(秋田)
 ○安藤文郎(福島)
 ○石塚甚衛門(東京)
 ○岡田良治(東京)
 ○太田喜八郎(山形)
 ○喜多橋 薫(和歌山)
 ○兒島基徳(大分)
 ○椎名安藏(福島)
 ○遠山 經治(静岡)
 ○西岡 彰夫(和歌山)
 ○長谷川 榮福(鳥取)
 ○二見延治(神奈川)
 ○藤井友吉(福岡)
 ○森下菅根(高知)
 ○山内 繁福(井)

國語漢文部

山梨師教諭
 群馬女師教諭
 奈良櫻井高女教諭
 新潟新潟高女教諭
 和歌山和歌山中教諭
 長野飯田中教諭
 東京青山師教諭
 愛媛大洲中教諭
 埼玉師教諭
 三重女師教諭
 三重師教諭
 和歌山師教諭
 長野大町中教諭
 佐賀師教諭
 英語部
 京都帝大法科大學生
 静岡静岡商教諭
 岩手師教諭
 東京高師助教諭
 △荻野素助(神奈川)
 △大河原欽吾(群馬)
 △小林政吾(岐阜)
 △坂井伸太郎(新潟)
 △櫻井 季(神奈川)
 △推野佐玄(山梨)
 △鈴木鶴吉(茨城)
 △竹中常喜(高知)
 △田代慎思郎(新潟)
 △西卷南平(新潟)
 △新美省音(愛知)
 △日野顯立(山形)
 △福岡俊次郎(島根)
 △堀野竹松(長野)
 △山口亮三(長崎)
 △荒木秀一(栃木)
 △池島勝之介(茨城)
 △石井金太郎(千葉)
 △石黒魯平(愛知)

鳥取商教諭
 大阪市役所學務課員
 千葉成東中教諭
 熊本八代中教諭
 東京青山師教諭
 東京私立京華中教員
 德島撫養中教諭
 群馬富岡中教諭
 福島會津中教諭
 山形女師兼山形高女教諭
 大阪梅田高女教諭
 愛知碧海郡視學
 東京帝大大學院學生
 福岡中學傳習館教諭
 新潟長岡女師教諭
 岡山師教諭
 大阪市金甌尋小訓導兼校長
 福岡小倉商教諭
 大阪市高津尋小訓導兼校長
 長野縣上伊那郡長
 △石田理一(千葉)
 △上野 篤(鹿兒島)
 △上野芳男(岩手)
 △大森元幸(富山)
 △柿崎丈七(秋田)
 △小林徳太郎(京都)
 △佐武林藏(鳥取)
 ○島内種吉(佐賀)
 ○島田金治(新潟)
 ○菅原 融(山形)
 △高田 徳(栃木)
 △武井繁太(徳島)
 △千葉壽胤(千葉)
 △土田誠一(秋田)
 △長井 晋(千葉)
 △原澤義太郎(群馬)
 △藤井 曆(岡山)
 △村田次郎(京都)
 △村手 鼎(愛知)
 △山際 格藏(大阪)
 △横尾惣三郎(群馬)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(明治四十三、四十四年)

地理歴史部

新潟長岡高女教諭 天澤高太郎(新潟)
 群馬師範教諭 石井 午二(群馬)
 三菱合資會社員 大塚 良治(埼玉)
 兵庫一神戶中教諭 北垣 横之助(兵庫)
 静岡濱松師範教諭 古賀 市郎(佐賀)
 山形酒田高女教諭 佐藤 牛平(群馬)
 愛媛松山高女教諭 田村 大靖(東京)
 朝鮮釜山高女教諭 津田 儀作(京都)
 熊本一師教諭 戸田 克己(岡山)
 佐賀小城中教諭 福山 重吉(佐賀)
 京都師範教諭 藤 森 勝郎(長野)
 滋賀彦根中教諭 松 島 茂三(三重)
 東京高師講師 水口 民次郎(京都)
 群馬前橋高女教諭 村上 秀一(京都)
 京都五中教諭 綿貫 哲雄(群馬)
 山形米澤商教諭 朝香 四郎(群馬)
 (死亡) 石原 幸之助(廣島)
 江見 豊治(岡山)
 谷内 讓(富山)

東京市明治小訓導 筒井 捨次郎(京都)
 東京三中教諭 西田 留吉(岐阜)
 京都三中教諭 袴田 集義(千葉)
 學習院助教 花岡 元吉(山口)
 京都師範兼京都府地方視學 廣瀬 實造(岐阜)
 青森師範教諭 廣田 鏡八郎(青森)
 廣島廣島中教諭 松本 寛次(兵庫)
 廣島吳中教諭 (死亡) 三浦 新重郎(新潟)
 長崎私立海星中教員 大和 竹治(高知)
 石川二高女兼女師教諭 (以上數學物理ヲ主トスルモノ) 渡邊 英雄(兵庫)
 鹿兒島師範 淺田 正樹(新潟)
 長野飯山中教諭 植村 良男(和歌山)
 北海道函館中教諭 海野 洋(山梨)
 鹿兒島女師教諭 岡 健壽(栃木)
 東京二中教諭 岡田 良一(栃木)
 神奈川工教諭 小野 三郎(千葉)
 大分竹葉中教諭 大久保 鹿次郎(三重)
 兵庫神戸高女教諭 大倉 正三郎(三重)
 (死亡) 加藤 榮五郎(福井)
 工藤 由之助(山形)

島根濱田中教諭 栗原 徳長(島根)
 兵庫私立中學鳳鳴義塾教員 三田 主市(兵庫)
 東京女師兼二高女教諭 田中 三郎(山梨)
 愛知女師兼二高女教諭 田中 兵二良(三重)
 福島相馬中教諭 中 榮 静一(三重)
 静岡沼津中教諭 中島 嘉之吉(神奈川)
 福岡女師教諭 中島 直吉(福岡)
 東京青山師教諭 廣瀬 政次(埼玉)
 三重高女教諭 別所 源太郎(三重)
 大阪工業試験所技師 渡邊 彦兵(愛知)
 (以上物理化學ヲ主トスルモノ)

岩手一關中教諭 松田 龜吉(群馬)
 大阪市集英尋小訓導兼校長 宮川 富次郎(愛知)
 東京市真砂尋小訓導兼校長 渡邊 年(東京)
 (明治四十四年三月卒業) 文科兼修體操專修科
 朝鮮京城專修教諭 高橋 虎彦(高知)
 朝鮮京城中教諭 瀧田 和三郎(山梨)
 東京高師助教 田淵 忠三郎(佐賀)
 東京高師助教 村上 邦夫(熊本)
 東京高師助教 森本 角藏(鳥取)
 (以上國語漢文兼修ノ部)
 山口山口高女教諭 蘆田 五郎(京都)
 和歌山田邊中教諭 飯島 仁作(神奈川)
 神奈川師範教諭 木庭 源三(熊本)
 岐阜岐阜中教諭 小林 東一(兵庫)
 米國コロンビア大學生 佐藤 嘉平(静岡)
 鹿兒島師範教諭 高山 深(長野)
 (以上英語兼修ノ部) 宮原 信吾(福岡)
 兵庫姫路師範教諭 有方 新治(兵庫)
 山形米澤中教諭 新田 勇(福島)

三重三中教諭 青 樹 信(愛知)
 千葉佐倉中教諭 赤沼 覺郎(長野)
 愛媛女師教諭附屬小主事 阿妻 利八(福島)
 新潟高田師範教諭 荒川 信吉(栃木)
 東京市水川小校長兼訓導水川圖書館監事 井上 滋次郎(富山)
 栃木佐野中教諭 小林 繁樹(島根)
 朝鮮銀行大連支店員 杉浦 徳治郎(兵庫)
 大阪夕陽丘高女教諭 杉野 秀二(愛知)
 (死亡) 高木 周藏(新潟)

山口山口 博物學部
 東京市明治小訓導
 東京三中教諭
 京都三中教諭
 學習院助教
 京都師範兼京都府地方視學
 青森師範教諭
 廣島廣島中教諭
 廣島吳中教諭
 長崎私立海星中教員
 石川二高女兼女師教諭
 鹿兒島師範
 長野飯山中教諭
 北海道函館中教諭
 鹿兒島女師教諭
 東京二中教諭
 神奈川工教諭
 大分竹葉中教諭
 兵庫神戸高女教諭
 (死亡) 工藤 由之助(山形)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(明治四十四年)

福島警城中教諭 △平賀仙三郎(福島)
 福岡私立中學西南學院教員 △深水重盈(熊本)
 (以上地理歴史兼修ノ部)
 ◎明治四十四年卒業數學專修科
 新潟長岡女師教諭 △阿部三郎(群馬)
 千葉大多喜中教諭 △伊藤仙藏(千葉)
 福岡中學修猷館教諭 △岩瀬喜作(千葉)
 千葉女師教諭 △岩田千之岐(千葉)
 山口山口師教諭 △入江隆雄(香川)
 宮崎師教諭 △緒方純三郎(福岡)
 新潟加茂農林教諭 △小島三郎(埼玉)
 新潟佐渡中教諭 △小島芳衛(新潟)
 新潟長岡中教諭 △緒井彌三郎(石川)
 東北帝大理科大學生 △佐藤定吉(埼玉)
 東北帝大理科大學助手 △柴田寛(千葉)
 山口山口師教諭 △砂川精一(東京)
 東京私立立教高女教員 △田上市之丞(長野)
 千葉千葉中教諭 △田村萬次郎(静岡)
 岐阜岐阜高女教諭 △福井省三(静岡)
 宮崎師教諭 △星野半五郎(愛知)

栃木真岡中教諭
 東北帝大理科大學生
 福井武生中教諭
 ◎明治四十四年卒業圖書手工專修科
 島根女師教諭 △板垣繁樹(島根)
 岐阜師教諭 △伊藤信一郎(愛知)
 臺灣國語學校助教 △梅村好造(佐賀)
 静岡濱松師教諭 △小倉隆藏(岐阜)
 京都師教諭 △大倉狂次郎(岡山)
 大阪池田師教諭 △河野啓嘯(愛媛)
 學習院助教 △黑田芳生(熊本)
 奈良女高師訓導 △小林吉平(新潟)
 (死亡) △白石龍太郎(栃木)
 三重女師教諭 △鈴木猶吉(三重)
 臺灣臺中中教諭 △高野雪治(新潟)
 山口山口師教諭 △田村美壽(山梨)
 東京博文館編輯部員 △爲藤五郎(福岡)
 愛知一師教諭 △原田隆謙(新潟)
 熊本熊本高女教諭 △東仁彦(熊本)
 滋賀師教諭 △平木吉治郎(滋賀)

群馬師教諭 △古屋正壽(山梨)
 廣島高師訓導兼助教 △堀孝雄(三重)
 愛知二高女兼女師教諭 △牧ヶ野敦信(岐阜)
 東京豊島師教諭 △山根大次郎(鳥取)
 廣島高師助教兼訓導 △吉田俊造(富山)
 ◎明治四十四年卒業科
 東京二中教諭 (教育、數學) 遠藤三千次(群馬)
 廣島雙三女技藝校 (歴史) 菅野敬吉(静岡)
 長兼教諭 (歴史) 菅野敬吉(静岡)
 山口豊浦高女教諭(地理、歴史) 高田道(福岡)
 (地理) 谷口勉(熊本)
 ◎明治四十五年卒業研究科(二箇年課程)
 長谷川榮(福島)
 京都私立同志社中教員 前窪勝之助(和歌山)
 大阪私立桃山中教員 宮澤佳治(長野)
 ◎明治四十五年卒業研究科(一箇年課程)
 愛媛女師教諭附屬小主事 △阿妻利八(福島)
 静岡濱松師教諭附屬小主事 △會澤龍平(奈良)
 廣島忠海中教諭 △池袋宗行(鹿児島)

東京高師助教諭
 島根松江中教諭
 新潟高田師校長
 鐵道院西部鐵道管理局員
 滋賀師教諭
 東京高師助教諭
 大阪市高津小訓導兼校長
 大阪工業試驗所技師
 ◎明治四十五年卒業本
 東京青山師教諭 △安島末吉(茨城)
 千葉佐倉中教諭 △池田哲三(茨城)
 東京豊島師教諭 △井上宗助(東京)
 長野松本中教諭 △岩本義恭(長野)
 東京高師訓導 △大野佐吉(兵庫)
 宮崎都城高女教諭 △河西三吉(長野)
 静岡濱松師教諭 △黒岩胤高(高知)
 東京帝大大学院學生 △坂井衛平(長野)
 京都興部高女教諭 △佐藤新作(長野)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(明治四十四、四十五年)

明治四十五年撰科

千葉佐原中教諭(教育、數學) 安藤則太郎(岐阜)
 東京私立日本中教(教育、化學) 上野友助(鹿兒島)
 東京日本橋高小訓導(教育、化學) 佐藤三善(福島)
 ◎大正二年專攻科
 三月卒業漢文部
 東京高師講師 内野台嶺(神奈川)
 高知師教諭主事 下部岩太郎(廣島)
 東京高師講師 萩原 擴(長野)
 鳥取育吉中校長兼教諭 勝島林 藏(富山)
 東京私立明治學院教員 熊坂圭三(神奈川)
 東京豐島師教諭 久米卯之彦(東京)
 三重二中教諭 黒田傳次郎(靜岡)
 福島會津中教諭 近藤正治(新潟)
 京都帝大大学院學生 佐藤廣治(福島)
 東京私立青山學院教授 神木逸太郎(青森)
 仙臺陸軍地方幼年學校教授 竹林貫一(群馬)
 宮城位沼中校長兼教諭 橋本文壽(福島)
 東京私立日本大學中教員 峰間信吉(東京)
 長野松本中教諭 矢澤邦彦(長野)

大正二年研究科(一箇年課程)

三月卒業
 栃木女師教諭 青木辰治(山形)
 靜岡市立靜岡商教諭 池島勝之介(茨城)
 三重二中教諭 岩脇莞爾(三重)
 大分府中教諭 大倉正三郎(三重)
 山形新庄中教諭 大竹竹治(宮城)
 東京高師講師 大野佐吉(兵庫)
 奈良櫻井高女教諭 小林政吾(岐阜)
 福島會津中教諭 菅原 融(山形)
 靜岡女師校長 能勢頼俊(山梨)
 廣島私立山中高女教員 梅林寺勝三(埼玉)
 東京市御田高小訓導 濱野知三郎(廣島)
 新潟高田中教諭 細川宜發(愛知)
 ◎大正二年 國語漢文部
 三月卒業
 岩手師教諭 荒木文三(栃木)
 東京二中教諭 河内平治(栃木)
 新潟新潟師教諭 小林義春(山梨)
 近藤兵庫(新潟)

愛知二師教諭 愛知三中教諭 北海道釧路中教諭 京都帝大文科大學生 石川師教諭 鹿兒島二鹿兒島中教諭 長野師教諭 鳥取倉吉中教諭 山形女師教諭 長崎佐世保中教諭 愛知一師教諭 山口室積師教諭	△白井繁太郎(香川) △高野久太郎(熊本) △高橋健二郎(新潟) △高山直通(宮崎) △竹澤 陸(石川) △田村二十一(新潟) △土屋彌太郎(長野) △富澤治作(福井) △豐田信勝(福島) △野口三千春(熊本) △野島茂作(靜岡) △松浦繁太郎(佐賀) △前田高四郎(神奈川) △吉田庄治(富山) △和歌山春吉(新潟) △渡邊節治(新潟)	京都帝大大学院學生 大阪操津紡績會社員 熊本鹿木中教諭 大阪毎日新聞社員 東京私立芝中教員 福島會津中教諭 千葉佐倉中教諭 京都帝大文科大學生 兵庫小野中教諭 山口萩中教諭 京都帝大大学院學生 京都帝大文科大學生 京都帝大醫科大學生	△田村德治(秋田) △對木重信(愛知) △德王觀吉(福岡) △富田義介(山口) △中島眞孝(埼玉) △西野正吉(茨城) △西牧盛雄(福島) △西村忠雄(佐賀) △新里文八郎(岩手) △平出眞九郎(兵庫) △廣田近三(大阪) △本多莞爾(長崎) △本田政雄(熊本) △松岡文七(香川) △松永茂雄(香川) △松本健之助(京都) △三浦林平(德島) △溝口九二五(岡山) △谷島彦三郎(茨城) △山本勘助(三重)
---	--	--	---

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正二年)

群馬高崎高女教諭 茨城女師教諭附屬小主事 京都帝大文科大學 新潟高田師教諭 滋賀所教官兼警視 東京女師兼二高女教諭 奈良女師教諭 宮城女師教諭 京都帝大文科大學 石川師教諭 神戶一中教諭 北海道札幌一中教諭 神奈川高女兼女師教諭 千葉師教諭 山梨師教諭 文部屬二級京中高等 高知一中教諭 神奈川師教諭 京都帝大理科大學 京都帝大理科大學 廣島師教諭 大阪東南高女教諭 長崎師教諭 群馬藤岡中教諭 滋賀師教諭 京都帝大理科大學 山形新庄中教諭 京都帝大理科大學 京都師教諭 山形師教諭 愛知二師教諭 長野上田中教諭 東北帝大理科大學 兵庫二神戶中教諭 新潟長岡女師教諭 高知一中教諭 京都帝大文學院學生 京都帝大理科大學 東京私立成蹊實務校教員 東北帝大理科大學	△五十嵐 米八郎(新潟) △石川 義次(東京) △石田 恭造(島根) △井東 豊彦(茨城) △大久保 留次郎(茨城) △大館 三良(高知) △木戸 山達夫(石川) △齋藤 喜代松(栃木) △鈴木 登(群馬) △富田 實一(兵庫) △富田 傳(福井) △川 善隆(沖繩) △中川 清喜藏(三重) △林 正躬(千葉) △保坂 大備(山梨) △堀内 林平(長野) △山極 二郎(長野) △吉岡 義雄(新潟) △會田 健治(新潟) △井上 大暉(栃木)	廣島師教諭 大阪東南高女教諭 長崎師教諭 群馬藤岡中教諭 滋賀師教諭 京都帝大理科大學 山形新庄中教諭 京都帝大理科大學 京都師教諭 山形師教諭 愛知二師教諭 長野上田中教諭 東北帝大理科大學 兵庫二神戶中教諭 新潟長岡女師教諭 高知一中教諭 京都帝大文學院學生 京都帝大理科大學 東京私立成蹊實務校教員 東北帝大理科大學	△岩下 雄三(山梨) △上野 市太郎(山梨) △生山 忠雄(山梨) △柿沼 彦吉(群馬) △上山 道造(栃木) △岸野 佐吉(岐阜) △木塚 五郎治(栃木) △清水 浩(長野) △堤 政助(香川) △堀 幸次郎(山形) △森田 新三(大阪) △泉 亮八(福岡) △出 射(岡山) △遠藤 輝(岡山) △小川 五郎(山梨) △加藤 藤吉(茨城) △四手井 次太郎(島取) △島田 龍三郎(滋賀) △岡田 忠男(高知) △高橋 彦一(静岡)
---	---	--	---

京都帝大理科大學 京都帝大理科大學 愛媛師教諭 山梨都留中教諭 樽太中教諭 東京高師助教授 東京私立成城中教員 滋賀師教諭 福岡小倉師教諭 北海道視學兼屬 熊本八代中教諭 (以上物理化學ヲ主トスルモノ) 東北帝大理科大學 大分日中教諭 鹿児島師教諭 福岡三池中教諭 徳島徳島中教諭 青森師教諭	△長畑 順三郎(福岡) △西田 傳五郎(三重) △沼田 實(廣島) △萩原 右三郎(山梨) (死亡)△光本 長之進(山口) △村山 春吾(新潟) △谷田 澤隆甫(静岡) △山岡 勘一(長野) △山本 嘉一(愛知) △吉田 彌三(福岡) △渡邊 繁吉(北海道) △渡邊 季雄(熊本)	米國留學 東北帝大理科大學助手 ◎大正二年三月卒業 文科兼修體操專修科 東京高師助教授 大阪天王寺師教諭 山形師教諭 福島會津中教諭 滋賀師教諭 長野師教諭 千葉大多喜中教諭 (以上國語漢文兼修ノ部) 埼玉川越染織教諭 栃木師教諭 千葉佐原中教諭 朝鮮平壤中教諭 (以上英語兼修ノ部) 福岡福岡師教諭 静岡掛川中教諭 東京豊島師教諭 香川三豐中教諭	△本多 彦九郎(福岡) △渡邊 萬次郎(福岡) △大谷 武一(兵庫) △甲佐 知定(宮崎) △神山 峰吉(栃木) △鈴木 龜一郎(福岡) △平山 誠寛(埼玉) △町野 泰吉(熊本) △森田 文藏(熊本) △岸村 金次郎(神奈川) △木塚 長次郎(佐賀) △杉山 豊次(静岡) △瀧 正善(岡山) △今井 學治(群馬) △今木 一郎(長野) △雜賀 三省(千葉) △杉山 通太郎(埼玉)
---	---	---	--

茨城龍ヶ崎中教諭 朝鮮京城高普通教諭 樺太中教諭 (以上地理歴史兼修ノ部)	大正二年 三月卒業撰科 宮城女師教諭(教育、體操) 東京市大正 小訓導(修身、體操) 青森青森中教諭(國語、漢文)	大正二年 四月卒業本科 兵庫私立關西學院教員 米國シカゴ大學生 大分縣視學	大正三年 三月卒業專攻科 東京高師講師 學習院講師	東京高師講師 福島會津中教諭 千葉成東中教諭 東京私立聖學院中教員 伊太利ナポリ東洋語學校教員 青森八戸中教諭 茨城土浦中教諭 長野師教諭 鹿兒島川内中教諭 奈良畷傍中校長	田島仁平(埼玉) 辻重(高知) 中島清人(熊本) 青木千代作(静岡) 大瀧正寛(山形) 村上才太郎(青森) 中野傳治(東京) 箕浦忠愛(鳥取) 佐藤利吉(岩手) 青木常雄(茨城) 稻葉三郎(栃木)	東京高師講師 飯島東太郎(栃木) 鶴飼盈治(長野) 上野芳男(岩手) 齋藤源四郎(千葉) 下位春吉(東京) 宗元苗(青森) 田中文勝(埼玉) 長尾忠三郎(鳥取) 中村東二郎(東京) 橋本五作(山形) 菱木岩四郎(京都) 若月岩吉(長野)
--	--	--	---------------------------------	---	--	--

神瀧女師兼高女教諭 東京高師助教授	大正三年 三月卒業本科 國語漢文部	東京高師講師 東京高師助教授 新瀧新瀧商教諭 京都帝大文科大學生 京都帝大文科大學生 本校研究科生 臺灣總督府編修書記 山形新莊中教諭 新潟高田師教諭 熊本私立九州學院教員 京都帝大文科大學生 秋田秋田中教諭	東京高師講師 東京高師助教授 新瀧新瀧商教諭 京都帝大文科大學生 京都帝大文科大學生 本校研究科生 臺灣總督府編修書記 山形新莊中教諭 新潟高田師教諭 熊本私立九州學院教員 京都帝大文科大學生 秋田秋田中教諭	東京高師講師 東京高師助教授 新瀧新瀧商教諭 京都帝大文科大學生 京都帝大文科大學生 本校研究科生 臺灣總督府編修書記 山形新莊中教諭 新潟高田師教諭 熊本私立九州學院教員 京都帝大文科大學生 秋田秋田中教諭	牧野良平(東京) 谷田澤隆甫(静岡) 有賀敷義(山梨) 射手矢貞三(大阪) 巖西眞乘(滋賀) 白杵東嶼(熊本) 小澤忠造(静岡) 岸田與一(京都) 桑川定一(栃木) 佐藤勉吉(神奈川) 四宮茂(徳島) 白石良五郎(福岡) 高橋理八郎(岩手) 武政房吉(高知) 富山忠義(兵庫) 中江時助(岡山) 中野長右衛門(廣島) 福士百衛(青森)	京都帝大文科大學生 新瀧新瀧商教諭 京都帝大文科大學生 京都帝大文科大學生 京都帝大文科大學生 英 語 部 東京私立南高輪小訓導 島根松江中教諭 千葉成東中教諭 香川大川中教諭 布哇中央學院教員 長野野澤中教諭 三重四日市高女教諭 岡山師教諭 鹿兒島二鹿兒島中教諭 東京私立聖學院中舎監 奈良私立天理中教員 茨城土浦中教諭 鹿兒島師教諭 鳥取師教諭 東京豊島師編託 福島福島中教諭	藤田豪之輔(秋田) 古山宗一(富山) 宮田和一郎(新潟) 務理作(長野) 秋葉隆(千葉) 井上貫一(岡山) 今井三郎(兵庫) 今西四良(奈良) 鶴澤孝(千葉) 白田徳衛(長野) 奥村卯之助(茨城) 大西太一(滋賀) 金生喜造(福岡) 鈴木得二(岩手) 高橋英治(群馬) 佃井久満治(大阪) 長尾宗次(鳥取) 堀尾茂左衛門(滋賀) 松井秀男(福島)
----------------------	----------------------	---	---	---	--	---	---

岡山私立蘭西中教諭	△三島龍太郎(廣島)	高知一中教諭	△市原哲夫(徳島)
福島私立石川中教員	△村越庄吉(福島)	東京高師助教諭	△北川久五郎(北海道)
高知海南中教諭	守分敏太(岡山)	廣島三原女師教諭	△木村脩(岐阜)
地理歴史部			(死亡) △久保佐一(廣島)
東京三高女教諭	△井上正岡(山形)	山形女師兼山形高女教諭	△黒金厚美(山形)
東京高師囑託	△上野菊爾(佐賀)	福岡小倉中教諭	△高井憲夫(群馬)
東京都都市高女教諭	△金栗四三(熊本)	福岡福岡師教諭	△多田源二郎(新潟)
熊本熊本中教諭	△上治寅次郎(兵庫)	東京豊島師教諭	△中澤伊與吉(新潟)
福岡福岡師教諭	△平野芳洲(熊本)	千葉師教諭	△二階源市(山口)
鹿兒島女師教諭	△木藤重徳(鹿兒島)	静岡濱松中教諭	△晴山西松岩手
長野師教諭	△江田一策(大分)	京都帝大理科大學生	△福田光治(栃木)
群馬北甘樂郡實高女教諭	△木暮安水(群馬)	京都帝大理科大學生	△藤岡茂(兵庫)
高知三中教諭	△田邊領一(廣島)	茨城下妻中教諭	△古本徹雄(青森)
神奈川厚木中教諭	△豊島松治(愛知)	熊本二師教諭	△三野龜太郎(香川)
本校研究科生	△牧島金三郎(神奈川)	學習院助教授	(以上數學物理ヲ主トスルモノ)
東京女高師訓導兼助教諭	△松本藤八(神奈川)	臺灣編修書記兼研究所技手	△阿藤實(岐阜)
長崎長崎高女教諭	△山根徳太郎(大阪)	鹿兒島師教諭	△石川清一(静岡)
京都帝大理科大學生	△山本幸雄(山梨)	京都帝大理科大學生	△上田恭平(岡山)
	△吉本克己(高知)	千葉師教諭	△大西三充(岡山)
	△荒勝文策(兵庫)	臺灣醫學校助教授	△海津彦九郎(福島)
			△川口武男(神奈川)

福岡大牟田高女教諭	△小林大右衛門(福岡)	長崎五島中教諭	△松本正廣(島)
栃木栃木中教諭	△植貞次(福島)	東京高師助教諭	△水野彌作(長野)
愛知名古屋二高女教諭	△戸口愉筈(和歌山)	群馬太田中教諭	△山本金平(岡山)
新潟新發田中教諭	△友永謙二(福井)	臺灣國語學校助教授	△安東豊作(大分)
大阪市廣教尋小訓導兼校長	△長井慶堯(大阪)	熊本二師教諭	△諫山茂(福岡)
北海道札幌二中教諭	△那須正一(和歌山)	鹿兒島師教諭	△伊藤孝英(愛知)
群馬太田中教諭	△藤原菊藏(秋田)	廣島三原女師教諭	△大村守五(岡山)
埼玉川越染織教諭	△本田乙之進(山口)	大阪夕陽丘高女教諭	△大和田勝(茨城)
群馬三原女師教諭	△山本俊一(和歌山)	埼玉師教諭	△加藤邦造(埼玉)
群馬高野實高女教諭	△吉田義一(徳島)	大阪市東平野小訓導	△加藤邦造(埼玉)
兵庫小野中教諭	△蒼尾憲治(兵庫)	石川女師兼二高女教諭	△齋藤善治(富山)
(以上物理化學ヲ主トスルモノ)		京都女師教諭	△上甲二郎(愛媛)
長崎女師教諭	△上地龜義(高知)	福岡女師教諭	△谷山毅(福岡)
長野縣視學	△小林小四郎(長野)	群馬伊勢崎實高女教諭	△土屋修(静岡)
茨城師教諭	△流石英治(山梨)	福岡福岡師教諭	△東木貞治(兵庫)
東京高師訓導小	△鷗羽松太郎(香川)	南滿洲鐵道會社南滿中學堂教員	△富田秀法(富山)
東京青山師教諭	△中泉正雄(茨城)	兵庫加古高女教諭	△仲上秋三郎(兵庫)
山梨瑞穂小訓導兼校長	△中澤吉之助(群馬)	兵庫明石女師教諭	△仲上義雄(兵庫)
福岡小倉高女教諭	△野見山久市(福岡)	臺灣國語學校助教授	△中野延輔(新潟)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正三年)

<p>靜岡師範 岩手師範 愛知一師 大阪市東平野尋小訓導 秋田師範 宮城女師 愛知名古屋一高小訓導 福島師範</p>	<p>○大正三年撰科 三月卒業 大正市東區一高小訓導(英語) 福岡福岡高女教諭(物理、化學) 福岡直方高女教諭(教育、化學) 青森青森中教諭(修身、物理) 東京市東華小訓導(修身、教育) 石川二高女兼女師教諭(手工)</p>	<p>○大正三年本科 五月卒業 靜岡豆陽中教諭 ○大正三年研究科(二箇年課程) 十二月卒業</p>	<p>○大正四年撰科 三月卒業 米國シカゴ大學生 ○大正四年研究科(二箇年課程) 三月卒業 米國留學 ○大正四年研究科(一箇年課程) 三月卒業</p>	<p>○大正四年本科 五月卒業 大分大分中教諭 京都三中教諭 大阪市西區一高小訓導 高知師範 富山瀨波中教諭 和歌山海草中教諭 群馬太田中教諭 茨城水戸高女教諭</p>	<p>○大正四年撰科 三月卒業 米國シカゴ大學生 ○大正四年研究科(二箇年課程) 三月卒業 米國留學 ○大正四年研究科(一箇年課程) 三月卒業</p>	<p>○大正四年本科 五月卒業 大分大分中教諭 京都三中教諭 大阪市西區一高小訓導 高知師範 富山瀨波中教諭 和歌山海草中教諭 群馬太田中教諭 茨城水戸高女教諭</p>
--	--	---	---	--	---	--

<p>○大正四年本科 三月卒業 兵庫神戸高女教諭 高知海南中教諭 鹿兒島女師教諭 茨城師範 奈良五條中教諭 本校研究科生 栃木工教諭 臺灣臺南高女教諭 新潟三條中教諭 兵庫柏原中教諭 朝鮮仁川公立商教諭 愛知名古屋市二高女教諭 沖繩高女兼女師教諭 富山魚津中教諭 愛媛松山中教諭 大阪堺中教諭 富山師範</p>	<p>○大正四年撰科 三月卒業 米國シカゴ大學生 ○大正四年研究科(二箇年課程) 三月卒業 米國留學 ○大正四年研究科(一箇年課程) 三月卒業</p>	<p>○大正四年本科 五月卒業 大分大分中教諭 京都三中教諭 大阪市西區一高小訓導 高知師範 富山瀨波中教諭 和歌山海草中教諭 群馬太田中教諭 茨城水戸高女教諭</p>	<p>○大正四年撰科 三月卒業 米國シカゴ大學生 ○大正四年研究科(二箇年課程) 三月卒業 米國留學 ○大正四年研究科(一箇年課程) 三月卒業</p>	<p>○大正四年本科 五月卒業 大分大分中教諭 京都三中教諭 大阪市西區一高小訓導 高知師範 富山瀨波中教諭 和歌山海草中教諭 群馬太田中教諭 茨城水戸高女教諭</p>
---	---	--	---	--

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正四年)

京都帝大法科大學生 岡山矢掛中教諭 愛媛師教諭 東京高師助教授兼訓導 静岡靜岡中教諭 地理歴史部 廣島廣島中教諭 朝鮮仁川公立商業專修兼 公立高女教諭 長野野澤中教諭 福島師教諭 京都帝大法科大學生 群馬師教諭 奈良師教諭 栃木尼利工教諭 沖繩師教諭 福島磐城中教諭 大阪天王寺師教諭	△齋藤寅吉(福島) △杉野芳郎(三重) △武政太郎(岡山) △津野榮藏(岐阜) △三田村一郎(福井) △江頭六郎(福岡) △遠藤久廣(神奈川) △奥秀三郎(東京) △高橋清之助(秋田) △高橋文雄(秋田) △武井群一(群馬) △武田敬止(和歌山) △中林義方(大阪) △藤林文輔(山口) △松田俊英(山形) △宮川經知(熊本) △伊古美都郎(島根) △石口重人(廣島) △梅田常治(熊本)	北海道函館師教諭 熊本八代中教諭 福島磐城中教諭 新潟高田中教諭 茨城土浦中教諭 神奈川師教諭 鹿兒島二鹿兒島中教諭 山梨師教諭 長野長野中教諭 宮崎郡城中教諭 大分竹田中教諭 熊本中學校兼教諭 鳥取鳥取中教諭兼訓導 香川師教諭 長崎雲岐中教諭 静岡静岡師教諭 神奈川一橋中教諭 北海道札幌一中教諭 熊本二師教諭 北海道旭川高女教諭	△河合熊太(香川) △柿崎兵部(秋田) △片岡正之(千葉) △河路甲午郎(新潟) △兒玉鹿三(和歌山) △佐藤三郎(福岡) △塚本文治(福井) △中島盛一(熊本) △橋本三郎(千葉) △平田俊太郎(香川) △廣瀬正雄(大分) △丸山正雄(和歌山) △三木政次(兵庫) △光安弘(福岡) △吉田豊廣(島根) △吉村英太(北海道) △依田操(兵庫) △阿部源三郎(山形) △伊南世燈(新潟) △小野栖平(北海道)
---	--	---	---

福岡福岡師教諭 福岡中學傳習館教諭 茨城水海道中教諭 静岡女師教諭 高知海南中教諭 兵庫柏原中教諭 茨城師教諭 石川師教諭 香川大川中教諭 兵庫豐岡中教諭 東京帝大農科大學介補 滋賀女師教諭 熊本玉名中教諭 埼玉女師教諭 北海道函館師教諭 北海道小樽中教諭 栃木私立烏山中教員 長野飯田中教諭 長野松本中教諭 (以上物理化學ヲ主トスルモノ)	△大川房吉(秋田) △大場信可(岐阜) △加藤四郎(石川) △加藤木胤雄(茨城) △神吉久兵衛(長崎) △久米可秀(徳島) △栗原豊太郎(静岡) △鹽見龜藏(京都) △鈴木不二雄(徳島) △田村讓(和歌山) △利行實(大分) △富田辨司(兵庫) △花田英太郎(佐賀) △平田義雄(静岡) △藤木源吾(福岡) △星敬有(福岡) △堀野芳人(長野) △正木修(愛知) △前田廣福(井) △吉岡喜四郎(茨城)	福岡小倉市視學 東北帝大理科大學生 香川師教諭 京都帝大文科大學生 長野長野中教諭 群馬師教諭 栃木栃木中教諭 石川小松中教諭 長崎佐世保高女教諭 福岡東筑中教諭 鳥取米子高女教諭 熊本二師教諭 大阪市東區二高小訓導 大阪市櫻宮尋小校長 (以上國語漢文兼修ノモノ)	△江崎龜壽(茨城) △嵯峨一郎(岐阜) △清水善次郎(長野) △土田茂(新潟) △鳥羽茂(長野) △永田四郎(静岡) △堀口時香(群馬) △松岡誠(宮城) △松園弘見(長崎) △安永震(福岡) △岡垣徹治(鳥取) △杉浦卯三(愛知) △武田晴夫(徳島) △原谷四郎一(兵庫) △關谷玉岩(愛媛) △橋本寛重(高知) △堀北茂行(徳島)
---	--	--	---

廣島高師助教 (以上英語兼修ノモノ)	△前田末喜(熊本)	神奈川横須賀中教諭	△松本健(鳥根)
東京一高女教諭	×坂井俊三(長野)	茨城縣視學	×松本次三(群馬)
長野師教諭	×杉山梅吉(静岡)	大阪天王寺中教諭	村上清(京都)
長野松本女師兼松本中教諭	△野口源三(埼玉)	◎大正四年撰科 三月卒業	
北海道函館師教諭	×山崎光雄(東京)	東京帝大文科大學生 (英語)	池端榮(静岡)
(以上地理歴史兼修ノモノ)		三重島羽商船教諭 (數學)	△佐々木猪之松(岡山)
◎大正四年數學專修科 三月卒業		愛知私立東海中教諭 (修身)	△佐々木英雄(島根)
宮崎宮崎中教諭	△淺野丈夫(岡山)	山形莊内農教諭 (修身)	△佐藤善八郎(山形)
兵庫豐岡中教諭	△池上彌(廣島)	宮城高女教諭 (修身)	△高野潮(新潟)
兵庫姫路師教諭	×橋本好兵衛(兵庫)	◎大正四年本 五月卒業	
鳥取鳥取高女教諭	△植木光男(鳥取)	地理歴史部	△吉澤俊一(長野)
東北帝大理科大學生	△大石喬一(静岡)	英城師教諭	△吉澤俊一(長野)
東北帝大理科大學生	△香取繁雄(岡山)	宮崎宮崎中教諭	△佐野熊吉(高知)
鹿兒島一鹿兒島中教諭	×兒玉利憲(鹿兒島)	廣島三次中教諭	△清水水茂(長野)
茨城師教諭	×鈴木正秋(群馬)	◎大正四年本 十二月卒業	
愛知一中教諭	△多久儀四郎(熊本)	英語部	
愛知三中教諭	△常陸重五郎(兵庫)		
福井師教諭	△原田勝一郎(栃木)		

岡山私立關西中教員

◎大正五年研究科(二箇年課程)	△國府田國一(茨城)	本校研究科生	△荒川修一郎(茨城)
◎大正五年研究科(一箇年課程)	×奥村卯之助(茨城)	埼玉熊谷高女教諭	△石田春昭(鳥根)
東京私立成城中教員	×梅村萬(静岡)	東京一高女教諭	△伊藤源作(長崎)
高知海南中教諭	×神吉久兵衛(長崎)	鹿兒島川邊中教諭	△宇波耕策(富山)
愛知私立東海中教員	×境野晋宮(城)	島根師教諭兼訓導	△神原克重(千葉)
茨城師教諭	×鈴木正秋(群馬)	岐阜女師兼加納高女教諭	△日下部武夫(千葉)
福岡小倉中教諭	×高井憲夫(群馬)	栃木宇都宮高女教諭	△島岡利二(群馬)
和歌山新宮中教諭	×竹内正義(福井)	京都帝大法科大學生	△清水實(富山)
東京高師助教諭	×田中啓爾(福井)	島根女師教諭兼訓導	△角南元一(岡山)
鹿兒島師教諭	×長尾巧(福岡)	一年志願兵	△楠岡一夫(兵庫)
東京下谷區書記	×湯本倉之助(東京)	京都二高女教諭	△長岐朗吉(秋田)
◎大正五年本 三月卒業		福岡大牟田高女教諭	△林傳次(福井)
國語漢文部		愛媛師教諭兼訓導	△深田榮次郎(新潟)
大阪池田師訓導兼教諭	×赤塚吉次郎(三重)	京都帝大法科大學生	△藤村寛太(福岡)
長崎師教諭兼訓導	△阿保談三(三重)	秋田師教諭兼訓導	△丸山源六(栃木)
		愛知一宮町高女教諭	△村上章治(栃木)
		樺太中教諭	△森重豐(大分)
		千葉千葉高女教諭	△矢澤倉次(群馬)
		京都京都市染織教諭	△綿引憲吾(茨城)
		英語部	

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正四年)

大阪堺中教諭	△足立宗治(兵庫)	山口山口師教諭	△石塚多(長野)
神奈川二横濱中教諭	○奥山雄藏(北海道)	奈良畝傍中教諭	△太野麟毅(高知)
長野飯山中教諭	△笠島信太(福井)	愛知女師兼二高女教諭	△川口源司(千葉)
北海道函館商教諭	△劍持確麻呂(廣島)	東京豊島師教諭兼訓導	△木下一雄(東京)
東京四中教諭	○小泉市郎(香川)	静岡中學豆陽教諭	△佐藤保太郎(山形)
青森師教諭兼訓導	○佐藤正治(福島)	徳島師教諭兼訓導	△杉本男三(静岡)
佐賀鹿島中教諭	△神英二(北海道)	愛媛師教諭	△中川一男(和歌山)
富山富山中教諭	○進崎雅治(宮城)	静岡師中	△芳賀剛吉(山形)
大阪天王寺師教諭	△茶谷茂(兵庫)	青森青森高女兼女師教諭	△濱岡典一(石川)
福岡朝倉中教諭	△遠山利八(香川)	北海道札幌師教諭	△福田定美(長野)
千葉佐原中教諭	○中原千代藏(福岡)	石川一高女教諭	△藤井金五郎(福井)
東京三中教諭	△中村龍男(東京)	兵庫御影師教諭兼訓導	○松本從之(兵庫)
岐阜師教諭兼訓導	○長谷川誠治(愛知)	青森師教諭兼訓導	△前田元次(佐賀)
本校研究科生	△花田康三(静岡)	愛媛女師教諭	△三木英太郎(愛媛)
熊本鹿本中教諭	△林博(岐阜)	群馬沼田中教諭	△吉田保治(群馬)
鹿兒島一鹿兒島中教諭	△藤原茂(岡山)	熊本二師教諭	△岩波喜代登(長野)
奈良郡山中教諭	△益田道三(和歌山)	愛媛女師教諭兼訓導	△葛西喜惣右衛門(岩手)
福岡豊津中教諭	△山崎英一(埼玉)	熊本熊本中教諭	△久保田萬造(福岡)
福岡師教諭	△吉田寅雄(京都)	鹿兒島師教諭	△近藤永太郎(新潟)
地理歴史部	△渡部乙彦(福島)	兵庫二神戶中教諭	△佐々木克己(鳥取)

七七ノ一〇一

岡山岡山中教諭	△佐藤高志(岡山)	静岡静岡師教諭	○園田軍平(大分)
愛知一師教諭兼訓導	○佐藤富治郎(愛知)	鳥取米子高女教諭	△立花秀雄(富山)
東京高師助教諭兼訓導	△佐藤良一郎(和歌山)	三重四日市高女教諭	△中井政吉(福井)
佐賀師教諭兼訓導	△平田眞(山口)	(以上物理化學ヲ主トスルモノ)	△矢野進吉(鳥根)
神奈川二横濱中教諭	△藤岡作一(山口)	博物學部	△甘田美智雄(群馬)
神奈川横須賀中教諭	△北條三郎(静岡)	群馬伊勢崎尋高小	△石川重一郎(廣島)
一年志願兵	△溝口傳(長野)	訓導兼實高女教諭	△柏木廣吉(静岡)
長野松本女師教諭	△宮本光一郎(茨城)	岡山岡山高女教諭	△栗岡龜治(兵庫)
兼訓導松本中教諭	△吉中吾郎一(鳥根)	和歌山師教諭	△那間雄三郎(栃木)
島根女師教諭兼訓導	(以上數學物理ヲ主トスルモノ)	山口室積師教諭	○中川完一(福井)
岡山井原尋高小訓導	△天野健二郎(三重)	茨城北相馬郡視學	△濱上實作(福岡)
同私立興讓館中教員	△伊藤一(静岡)	千葉師教諭兼訓導	△牧千葉三(大分)
宮崎都城高女教諭	△岩永源作(福井)	廣島師教諭	△山元要滋(賀)
三重師教諭兼訓導	△太田滋雄(長野)	大阪市高津尋小訓導	
山梨甲府中教諭	△川添正雄(岐阜)	學習院助教授	
北海道釧路中教諭	○登島徳(大分)	東京私立南高輪小訓導	△今井熊太郎(青森)
群馬女師教諭兼訓導	△黒住豊太(岡山)	廣島私立修道中教員	△小倉恒司(千葉)
長野大町中教諭	○小山寅(神奈川)	岡山岡山中教諭	△太田七五三(岐阜)
岡山岡山中教諭	△佐々木豊藏(北海道)		△小菅傳吉(滋賀)
静岡濱松師教諭	△眞田範衛(静岡)		
長野師教諭兼訓導	△杉山隆二(岐阜)		

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正五年)

七七ノ一〇三

愛知一師教諭兼訓導
 茨城水戸中教諭
 鳥取會吉中教諭
 熊本高女教諭
 千葉女師教諭
 愛知三中教諭
 佐賀師教諭
 茨城商教諭
 德島女師兼高女教諭
 茨城太田中教諭
 (以上體操ヲ主トスル者)
 本校研究科生
 熊本私立九州學院教員
 米國留學
 千葉水更津中教諭
 鳥取米子中教諭
 南滿洲鐵道株式會社員
 福島師教諭
 鳥取師教諭兼訓導
 長野松本中囑託

×古地英吉(千葉)
 ×白月紋之丞(青森)
 ×須賀田三郎(茨城)
 ×苗村茂(石川)
 ×平田直義(愛媛)
 ×細野伊勢吉(埼玉)
 ×松尾重壽(鳥取)
 ×水野谷初美(福島)
 ×箕村益二(德島)
 ×茂木定株(山形)

×守分伊佐美(岡山)
 ×渡部邦藏(島根)
 ×安東康全(岡山)
 ×伊能重雄(東京)
 ×小井正雄(千葉)
 ×小山弘房(熊本)
 ×藤藤廬(青森)
 ×古澤住伊(福島)
 ×板谷誠作(千葉)
 ×松村素夫(熊本)
 ×森田文十郎(埼玉)
 ×山本名置(高知)

茨城筑波郡小田尋
 高小訓導兼校長
 鳥根杵築中教諭
 (以上柔道ヲ主トスル者)
 長崎師教諭兼訓導
 中央新聞記者
 鹿兒島師教諭兼訓導
 廣島三次中教諭
 鳥取商教諭兼師訓導
 東京市忍岡尋小訓導
 千葉佐原中教諭(一年志願兵)
 千葉千葉中兼師教諭
 高知海南中教諭
 (以上劍道ヲ主トスル者)
 愛媛北宇和明
 治尋高小訓導
 山形新庄中教諭
 靜岡濱名
 東京日本橋高小訓導
 大分竹田中教諭

(教育) 岡平吾愛媛
 (修身、教育) 小野源藏(秋田)
 (體育、體操) 大橋政一(愛知)
 (化學) 海部一郎(兵庫)
 (英語) 海部一郎(兵庫)
 (數學) 上村真(岡山)

(死亡)(修身、教育) 釘崎又四郎(熊本)
 (修身、教育) 關清一郎(静岡)
 (數學、手工) 田中卯一郎(山形)
 (教育) 東條欣一(德島)
 (修身、教育) 林弘信(香川)
 (修身、教育) 原田美馬(岡山)
 (化學) 增井太郎(東京)
 (教育) 增井太郎(東京)

東京市外手町小訓導
 京都府桑田郡高女教諭
 宮城佐沼中教諭
 廣島吳中教諭

長野師教諭
 東京市外手町小訓導
 京都府桑田郡高女教諭
 宮城佐沼中教諭
 廣島吳中教諭

靜岡藤原中教諭
 長野飯田中教諭
 奈良師教諭
 千葉安房高女教諭
 山口室積師教諭

英語科
 △窪田宗雄(長野)
 △辻精司(岐阜)
 △山大路一(大阪)

博物學部
 △丸山八百次郎(和歌山)

◎大正五年 體操專修科(柔道ヲ主トスルモノ)
 齋藤秀喜(熊本)

◎大正五年 研究科(二箇年課程)
 齋藤秀喜(熊本)

東京高師助教諭
 ◎大正五年 本 科
 英 語 部
 福岡中學明善校教諭
 ◎大正五年 撰 科
 (數學) 石井剛(神奈川)
 (教育、數學) 宇多川律平(鳥取)

和歌山師教諭
 東京豊多摩郡視學
 ◎大正六年 研究科(二箇年課程)
 三月卒業
 外國留學
 山梨師教諭
 滋賀女師兼大津高女教諭
 靜岡靜岡中教諭
 長崎長崎高女教諭

×梅津準人(福岡)
 ×神澤諭司(長野)
 ×石川謙(愛知)
 ×中島盛一(熊本)
 ×梨谷靜芳(富山)
 ×芳賀剛吉(山形)
 ×吉本克己(高知)

◎大正六年三月卒業本科 國語漢文部

- 長野上田中教諭 青木榮藏(愛知)
- 兵庫二神戶中教諭 小野正康(香川)
- 山口山口師教諭 大西一治(兵庫)
- 佐賀師教諭 甲藤義治(高知)
- 愛媛師教諭 加藤徹治(愛知)
- 静岡師範中教諭 加藤仁平(愛知)
- 京都帝大文科大學々生 龜山相次(岡山)
- 兵庫豊岡中教諭 柴原銀二(福井)
- 長崎女師教諭 坂上一郎(岡山)
- 鹿兒島女師教諭 關本榮吉(奈良)
- 奈良五條中教諭 丹直能(茨城)
- 香川大川中教諭 時下米太郎(福岡)
- 千葉成東中教諭 南雲正次(新潟)
- 米國留學 信田勝夫(廣島)
- 長野松本中教諭 福永勝盛(宮崎)
- 群馬高崎高女教諭 保正角次郎(滋賀)
- 沖繩師教諭 宮本傳藏(青森)

- 東京高師囑託 山内藤馬(山形)
- 福岡嘉穂中教諭 山田秀雄(熊本)
- 福岡八女中教諭 山本傳郎(富山)

英語部

- 佐賀師教諭 阿保剛三(三重)
- 長野松本中教諭 石貫昌隆(熊本)
- 愛知田原町中學成影館教諭 山口福助(徳島)
- 兵庫私立中學鳳鳴義塾教員 内田金平(静岡)
- 岡山私立吉備商教員 岡本彰(山口)
- 神奈川小田原中教諭 神津省三郎(長野)
- 京都二高女教諭 黒崎晋介(東京)
- 山梨師教諭 小林灌一郎(神奈川)
- 鳥取鳥取中教諭 左右田實(京都)
- 長崎師教諭 佐取亮吉(栃木)
- 愛媛松山中教諭 湛辰(熊本)
- 廣島廣島中教諭 野村繁(茨城)
- 千葉千葉高女教諭 久村潔(滋賀)
- 静岡静岡中教諭 福原麟太郎(廣島)
- 兵庫神戸神港商教諭 三笠新(福岡)
- 京都帝大法科大學學生 森岡榮(岡山)

栃木宇都宮高女教諭 福岡小倉中教諭

地理歴史部

- 兵庫二神戶中教諭 伊倉健治(静岡)
- 岡山私立天城中教員 石井逸太郎(熊本)
- 本校研究科生 磯野利夫(福岡)
- 大阪市道仁尋小訓導 北川外吉(富山)
- 熊本二師教諭 清田續藏(大分)
- 兵庫神戸市高女教諭 久保田眞(山梨)
- 福井小濱中教諭 栗原寅治郎(滋賀)
- 長野上田中教諭 後藤富司(茨城)
- 静岡静岡中教諭 後藤守一(静岡)
- 石川七尾商教諭 佐藤龍藏(長野)
- 長崎師教諭 四角誠一(香川)
- 岡山上道郡視學 菅原信治(殿手)
- 本校研究科生 田中一郎(千葉)
- 群馬藤岡中教諭 田中傳吾(茨城)
- 大阪清水谷高女教諭 友納養徳(福岡)
- 北海道函館師教諭 藤本義平(愛媛)

- 米倉信晴(佐賀)
- 渡部利三郎(愛媛)

數物化學部

- 秋田女師教諭 石川傳三郎(北海道)
- 朝鮮京城中教諭 岩切晴二(宮崎)
- 東京一高女教諭 岩間綠郎(青森)
- 香川大川中教諭 今井盛太郎(香川)
- 岩手師教諭 及川規(殿手)
- 福島福島中教諭 幸田甫(鳥取)
- 長野師教諭 熊澤信二(兵庫)
- 群馬師教諭 助川己之七(福島)
- 埼玉川越中教諭 鍋島信太郎(和歌山)
- 新潟柏崎中教諭 額田登(和歌山)
- 愛知女師兼二高女教諭 福山重雄(兵庫)
- 熊本天草中教諭 福樂喜信(鳥取)
- 長野飯田高女教諭 森安茂一(香川)
- 愛知二師教諭 山本政治(兵庫)
- 京都二高女教諭 余田静馬(兵庫)
- (以上數學物理ヲ主トスルモノ)
- 沖繩女師兼高女教諭 海田孝正(福岡)
- 兵庫姫路中教諭 草深常治(三重)
- 佐藤鐵藏(山形)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正六年)

福岡中學修館教諭	△四方作一(京都)	長野上田中教諭	△江尻智司(千葉)
東京高師囑託	△內藤卯三郎(神奈川)	福島磐城中教諭	△江見貢(新潟)
本校研究科生	△福山晋輔(兵庫)	廣島師教諭	△掛田正雄(廣島)
和歌山新宮中教諭	△松浦俊吉(兵庫)	熊本女師教諭	△川北幸三郎(三重)
熊本二師教諭	△前田房吉(鳥取)	愛知名古屋市高女訓導	△上林英太(山形)
(以上物理化學ヲ主トスルモノ)		鳥取鳥取中教諭	△鎌本政吉(鳥取)
博物學部		埼玉師教諭	△瀨知通太(福岡)
廣島尾道高女教諭	△秋山幹(茨城)	静岡女師教諭	△對馬助五郎(青森)
千葉成東中教諭	△稻熊信正(愛知)	大阪堺中教諭	△中村好藏(山口)
岐阜聖太中教諭	△遠藤誠道(福島)	關東中教諭	△治田久雄(群馬)
巖手師教諭	△兒島祐一(愛知)	茨城師教諭	△船田哲(栃木)
山形女師教諭	△小竹茂助(新潟)	本校研究科生	△增田清次郎(千葉)
東京市江東尋小訓導	△武見五作(新潟)	千葉師教諭	△三橋義雄(鳥取)
兵庫姫路師教諭	△苦瓜惠三郎(兵庫)	德島師教諭	△宮田覺造(茨城)
京都帝大理科大學學生	△福井玉夫(大阪)	宮崎都城高女教諭	△三好貫二(福岡)
佐賀小城中教諭	△增井公木(靜岡)	東京四中教諭	△森秀(德島)
○大正六年體操專修科		長崎私立鎮西學院教員	△山口直一(長崎)
三月卒業		長崎師範師教諭	△山脇二郎(廣島)
群馬伊勢崎尋高小訓導兼		北海道函館商教諭	△吉永義孝(福井)
伊勢崎實高女教諭		長野飯田中囑託	△遠藤力雄(宮崎)
滋賀彦根中教諭			

大阪岸和田中教諭	△大久保 屯(鹿兒島)	本校研究科生 (植物、農學)	△品山 恒(新潟)
長野飯山中教諭	△木村 直(大分)	愛媛宇和島 (修身、教)	△三宅 駿(兵庫)
大阪天王寺中教諭	△越川助三郎(千葉)	高女教諭 (育、化學)	△吉(兵庫)
愛媛宇和島中教諭	△小林秀雄(千葉)	○大正六年體操專修科(劍道ヲ主ト)	
本校研究科生	△櫻庭 武(秋田)	五月卒業	△渡邊 一夫(愛知)
新潟新發田中教諭	△佐竹信夫(福岡)	○大正六年研究科(二箇年課程)	
高知高知市商教諭	△長畑正章(福岡)	五月卒業	△岡部 平(福岡)
本校研究科生	△東口眞平(熊本)	○大正六年研究科(二年課程)	
米國留學	△山内俊高(鹿兒島)	七月卒業	△金栗 四三(熊本)
富山師教諭	△山本壽喜太(岡山)		
(以上柔道ヲ主トスルモノ)			
大阪岸和田中教諭	△石川太郎(山形)		
廣島吳中師教諭	△清藤 繁(熊本)		
富山師教諭	△永田勝惠(熊本)		
本校研究科生	△藤原又藏(秋田)		
福島磐城中教諭	△森川重雄(福島)		
福島平尋高小訓導	△渡邊華平(福島)		
(以上劍道ヲ主トスルモノ)			
○大正六年撰 科			
三月卒業			
新潟新發田高女教諭 (數學)	△土屋直人(廣島)		

附屬中學校卒業生諸子諸子ハ本校ニ於テ既ニ高等普通教育ノ科程ヲ卒ヘタリ今ヨリ以後益
我心ヲ智徳ノ修養ニ潜メカヲ各自ノ志ス所ニ致シ身ヲ立テ業ヲ成シ以テ國民ノ本分ヲ盡サ
シコトヲ期セヨ
一言ヲ陳ヘテ祝辭トス
自是トシテ
諸子ハ
東京高等師範學校卒業證書授與式

一 文雅大目録

第一 大正六年三月本校卒業證書授與式

附錄

二 校長告辭

本校卒業生諸子諸子ハ本校所定ノ業ヲ卒ヘテ今茲ニ卒業證書ヲ受領シタ此證書ハ諸子ガ中
等程度ノ學校ニ於テ教育者タルノ力ヲ備ヘタトイフコトヲ證明スルモノデアツテ諸子ノ爲
ニハ既往ニ於ケル努力ノ効果トモイフベク誠ニ慶賀スベキコトデアルガ同時ニ又諸子ヲシ
テ重大ナル責任ノ位置ニ立タシメタノデアル
今世界ノ大勢ヲ觀ルニ各國ガ國際間ニ立ツテ其獨立ヲ全ウシ他國ノ畏敬ヲ受ケルノハ政治
産業軍事其他百般ノ事物ガ整備シテ互ニ調和ヲ保ツテ居ルカラデソレ等萬般ノコトノ根本
ハ教育ニアルトイフコトガ明ニ分ルノデアル諸子ハ此ノ大切ナ教育ニ一身ヲ委ネルコトニ
ナツタノデアアルカラ前途多忙デアルトイハネバナラヌ或ル人ハイハウ教育ハ最モ有効ノモ
ノニ相違ハナイが大ナル困難ガ伴ハレ非常ナ努力ヲ要スルモノデアルトイフデアラウソレ
ハソノ通りデアアル併シ此ノ大ナル困難ニ伴ハレ非常ナ努力ヲ要スルトイフコトガ却テ男子
ヲシテ奮ツテ立タシムベキ理由ノアル處デアラウト予ハ信ズルノデアル
諸子ヨ諸子ガ在學中修養シタ心身ノ力ヲ最モ有効ニ使用シテ終始研鑽ヲ怠ラズ此ノ大任ヲ
盡ス上ニ於テ誰ニモ後レヲ取ラヌトイフ覺悟ヲ固メナケレバナラヌ

中學卒業生諸子諸子ハコレカラ各自ノ志ス所ニ向ツテ進ムデアラウガ本校教育ノ主旨ヲ體シテ必ズ國家社會ニ有用ノ材トナランコトヲ期スルコトト信ズル併シ將來高等ノ學校ニ進ミ又ハ社會ニ出デテ後ハ中學時代ノヤウニ細イ注意ヲシテ吳レル人ハナクナルデアラウ又誘惑ハ類ニ各方面カラ諸子ノ身ニ附キ纏ウテ來ルデアラウ諸子ハ絶エズ自ラ反省シ確乎タル意志ヲ以テ立タナケレバ其ノ志ス所ヲ遂ゲルコトハ出來マイト思フ諸子ヨ今後益々奮勵セヨ

二 對是告諭

三 學事報告

本日卒業證書授與式ニ當リ本學年ニ於ケル當校學事ノ特殊ナル事項ニ就キテ左ニ其ノ大要ヲ報告ス

第一 本校

(一) 卒業生

今回本校ヲ卒業スヘキ者ハ

研究科	七名
本	八十七名
専修科	三十八名
撰	三名
特別學生(朝鮮人)	三名
外國學生(支那人)	十四名
合計百五十名ニシテ之ヲ創立以來ノ卒業生ニ通算スレバ其ノ數實ニ四千三十八名ノ多キニ達セリ	

(二) 生徒

本學年ニ於テハ文科生七十二名理科生四十名研究科生二十六名特別學生三名外國學生三十
 二名ヲ入學セシメタリ
 來學年ニ於テハ文科生七十一名理科生五十六名研究科生三十名外國學生二十名特別學生三
 名ヲ入學セシムル豫定ニシテ尙體育科生ヲ募集スル計劃ナリ
 今回卒業スヘキ者ヲ除キ本校生徒ノ現在數ハ四百十九名ニシテ之ニ來學年ニ於テ入學セシ
 ムヘキ者百八十名ヲ加フレハ來學年ノ始メニ於ケル本校生徒ハ五百九十九名トナルヘキ豫
 定ニシテ其ノ内譯ヲ示セハ左ノ如シ

一回本 研究科 (舊規則ニ依レルモノ) 三十八名

本 文 科 二百二名

理 科 二百一名

體育科 百二十八名

專修科 八名

撰科 六名

特別學生(朝鮮人、臺灣人) 六名
 外國學生(支那人) 八十六名

(三) 教授

本校ニ於テハ所定ノ學科ノ外實驗實習ヲ課シ修學旅行等ニヨリテ實地ノ研究觀察ヲ遂ケシ
 メ又講演會ヲ開キテ社會各般ノ知識ヲ與ヘ休日等ヲ利用シ官衙工場等ヲ見學セシメ力メテ
 社會ノ實際ニ觸レシメンコトヲ期セリ

(四) 訓 練

本校ニハ生徒監一名生徒監補助六名アリテ專ラ生徒訓育ノ任ニ當レリ
 本校寄宿舎ハ校友會各部ノ組織ニ一致セシメテ室員ヲ配置シ校友會各部ノ主事ヲ寄宿舎參
 事トシ主事委員ハ其ノ部員ヲ率キテ相砥礪シ校友會幹事ヲ寄宿舎理事トシ校友會幹事ハ又
 各部主事委員ヲ率キテ一般ノ統轄管理ニ當リ身體鍛鍊ノ便宜ヲ圖ルト共ニ自ラ治ムルノ精
 神ヲ涵養セシムルニ努メシカ其ノ成績大ニ見ルヘキモノアリ但シ豫科ハ之ヲ三部ニ分チ各
 部室長中ヨリ其ノ部參事二名ヲ互選シテ校友會ノ部組織ニ準スルコトトセリ而シテ專修科
 生ハ其一部ヲ本舎ニ收容シ他ハスヘテ之ヲ第七寮ニ收容セリ
 寄宿舎ノ設備年々整頓シテ舊來ノ面目ヲ一新シタレトモ猶其ノ不備ヲ感スルハ圖書室、會

本日附屬中學校ヲ卒業スヘキモノハ六十六名ニシテ創立以來ノ卒業者ニ加フレハ其ノ數實ニ一千四百九十九名ニ達セリ而シテ新卒業者ハ殆ト皆上級ノ學校ニ進マントスル者ニシテ其ノ大多數ハ高等學校ニ入學セントスルモノナリ現在ノ生徒數ハ本日卒業スヘキモノヲ除キ三百十五名ニシテ之ニ來學年ニ入學セシムヘキ八十名ヲ加フレハ總數三百九十五名ナリトス

教授ニ關シテハ各學科トモ其ノ實績ヲ舉ケンコトヲ務メ就中地理、物理、化學、博物等ノ諸科ニ於テハ實驗觀察ノ設備ヲ整ヘ從來ニ比シテ一段ノ改善ヲ加ヘタリ生徒ノ訓育ニ關シテハ運動ヲ獎勵スルト同時ニ其ノ操行及學業ノ向上ニ注意シ生徒各自ノ自覺奮勵ヲ促シテ此ノ目的ヲ達センコトヲ務メタリ

在學中柔道若クハ劍道ヲ正科トシテ履修セシハ今回ノ卒業者ヲ以テ嚆矢トス之ヲ從來隨意科トシテ履修セシモノニ比スレハ其ノ進歩ノ相違顯著ナルモノアリ柔道ニ六名劍道ニ二名ノ得業者ヲ出セルヲ以テ其ノ一斑ヲ見ルヘシ

研究事項ノ重ナルモノハ中學校ノ一般事項及國語、外國語、圖畫、手工ニ關スル諸問題ナリ此ノ外教授訓育ニ關スル問題ニシテ教官ノ分擔調査ニ係ルモノ數件アリ是等ハ引續キ研究ヲ重ネテ之ヲ實際ニ試ミントス

第三 附屬小學校

今回附屬小學校ヲ卒業スヘキ兒童ハ總テ百四名ニシテ現在兒童ノ數ハ七百六十四名ナリ之ニ來學年ニ入學セシムヘキ兒童百五十九名ヲ加フレハ總數九百二十三名ナリトス

教授ニ就キテハ第二部ニ於テ前學年度ヨリ繼續シテ男女共學單式編成ノ尋常一學年ヲ一學級増設セリ

訓練ニ就キテハ前學年度ノ方針ヲ繼續シテ益其ノ實行指導ヲ適切ナラシメ毎月一回講堂訓話ヲ行ヒ訓練上ノ統一ヲ圖リ春秋二回國民記念式ヲ行ヒテ國民的思想ノ涵養ニ資シ尙每學期一回強行遠足ヲ舉行シ徒歩ヲ獎勵シテ以テ心身ノ鍛鍊ヲ圖リタリ研究事項ノ重ナルモノハ修身科教授法ナリ此ノ外水産體育少年讀物ニ關スル講演會ヲ開キテ職員一同ノ研究ニ資シタリ

右ノ外父兄懇話會ヲ催シテ家庭ト學校トノ連絡ヲ圖リ大運動會擬戰及普通遠足等ヲ舉行シタルコトハ例年ト異ナルコトナシ

一、本會ハ東京高等師範學校校友會ト稱ス
二、本會ノ主タル事務所ハ之ヲ東京市小石川區大塚窪町貳拾參番地ニ設ク
三、本會ノ會員タルモノハ左ノ資格ノ一ニ該當スルモノタルコトヲ要ス
四、本會ノ會員資格及義務
一、東京高等師範學校生徒
二、現在ノ東京高等師範學校職員
三、東京高等師範學校卒業生 舊高等師範學校卒業生及舊東京師範學校卒業生

第二章 名稱

第一條 東京高等師範學校校友會定款

(明治四十年十月二日 社團法人設立認可)

第一章 目的

第一條 本會ハ社團法人トナシ會員ノ精神ヲ修養シ身體ヲ鍛練シ以テ校風ヲ振作シ併セテ會員相互ノ親睦ヲ厚クスルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ東京高等師範學校校友會ト稱ス

第三章 事務所

第三條 本會ノ主タル事務所ハ之ヲ東京市小石川區大塚窪町貳拾參番地ニ設ク

第四章 會員資格及義務

- 第四條 本會ノ會員タルモノハ左ノ資格ノ一ニ該當スルモノタルコトヲ要ス
 - 一、東京高等師範學校生徒
 - 二、現在ノ東京高等師範學校職員
 - 三、東京高等師範學校卒業生 舊高等師範學校卒業生及舊東京師範學校卒業生

四 前任ノ東京高等師範學校職員 舊高等師範學校職員及舊東京師範學校職員

第五條 前條ノ資格ノ一ニ該當スルモノニシテ本會會員タラントスルトキハ理事ニ申出テ其承認ヲ經ルヲ要ス

第六條 第四條ノ資格ニ該當セサルモノト雖モ本會ニ對シテ功勞アルモノハ理事ニ於テ特ニ之ヲ會員ニ推薦スルコトヲ得

第七條 會員ハ理事ハ承認ヲ經テ退會スルコトヲ得

第八條 會員ニシテ本會ノ體面ヲ汚ス行狀アルモノハ理事ニ於テ之ヲ除名スルコトヲ得

第九條 會員タルモノハ總會ニ於テ定ムル所ノ規定ニ基キ所定ノ費用ヲ釀出スル義務ヲ有ス

第五章 理事

第十條 本會ニ理事一名ヲ置ク

第十一條 理事ニハ現在ノ東京高等師範學校長ヲ推薦シテ之ニ充ツ

第十二條 理事ハ會務ノ分掌ヲ定メ其主務者ヲ選任スルコトヲ得

第六章 總會

第十三條 定時總會ハ毎年一回之ヲ開ク

第十四條 總會招集ノ通知ハ東京高等師範學校内揭示場校友會誌及茗溪會發行ノ雜誌教育ニ公告シテ之ヲ行フ

但シ理事ニ於テ書面ヲ發シ又ハ新聞紙上ニ公告シテ之ヲ爲スコトヲ得

第十五條 總會ニ於ケル表決ハ出席會員ニ限ル書面又ハ代理ヲ以テ表決ヲ爲スコトヲ得ス

第十六條 總會ノ決議ハ出席會員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

但シ定款變更ニ關スル決議ハ在京會員ノ半數以上出席シ其出席員ノ三分ノ二以上同意アルヲ要ス

第七章 資産

第十七條 本會ノ資産ハ會員ノ出資及會員并ニ會員ノ外ノ寄附ヲ以テ成ル

第十八條 本會ノ資産ヲ分チテ通常財産及基本財産ノ二種トス

第十九條 本會ノ基本金ヲ以テ基本財産トナス

第二十條 基本金ハ會員カ基本金トシテ釀出スル金額會員并ニ會員以外ノ特定寄附金及本會ノ計剩餘金ノ蓄積ヲ以テ成ル

第二十一條 基本財産ノ元本ハ何等ノ場合ヲ問ハス之ヲ消費スルコトヲ得ス

第二十二條 基本金ハ有價證券又ハ現金ヲ以テ保管シ其利殖ノ方法ハ總會ノ決議ヲ以テ別

ニ之ヲ定ム

第八章 補則

第二十三條 本會ハ社團法人ノ登記ヲ申請スル際會員ノ權義等ニ關シテ從來實施セル別紙ノ細則ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第二十四條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第二十五條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第二十六條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第二十七條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第二十八條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第二十九條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第三十條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第三十一條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第三十二條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第三十三條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第三十四條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第三十五條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第三十六條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第三十七條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第三十八條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第三十九條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第四十條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

二 東京高等師範學校校友會細則

第一章 目的

第一條 東京高等師範學校校友會ノ目的ハ會員ノ精神ヲ修養シ身體ヲ鍛鍊シ以テ校風ヲ振作シ併セテ相互ノ親睦ヲ厚ウスルニアリ

第二章 會員

第二條 本會々員ハ左ノ四種ヨリナル

- 名譽會員
- 贊助會員
- 特別會員
- 通常會員

第三條 特ニ本會ニ功勞アル人ハ名譽會員トナス

第四條 本校現在職員ヲ以テ贊助會員トナス

第五條 本校前職員及本校卒業生ヲ以テ特別會員トナス

第六條 本校生徒ヲ以テ通常會員トナス

第七條 通常會員ハ評議員ニ於テ別ニ定ムル所ノ會費ヲ納ムルモノトス
 第八條 通常會員ハ別ニ定ムル所ノ規定ニヨリ校友會基本金ヲ積立ツルモノトス
 第九條 通常會員ハ入會ノ際入會金壹圓五拾錢ヲ納ムルモノトス
 第十條 贊助會員ハ毎年贊助會員ノ會議ニテ定ムル所ノ割合ニヨリ本會通常經費ヲ寄附スルモノトス

第三章 會務分掌

第十一條 本會ノ目的ヲ達センカ爲メ左ノ十一部ヲ置ク

- 第一部 本會本部
- 第二部 雜誌部
- 第三部 柔道部
- 第四部 劍道部
- 第五部 弓道部
- 第六部 徒歩部
- 第七部 庭球部
- 第八部 蹴球部

第十二條 談話部ハ會員ノ演說討論談話會ヲ開キ及ヒ校外ノ名士ヲ招聘シテ演說講話ヲ乞フコトヲ掌ル
 第十三條 雜誌部ハ本會會誌ヲ發行シテ會務ヲ報告シ會員ノ論說文藝消息等ヲ公ニスルコトヲ掌ル
 第十四條 柔道以下ノ九部ハ各其名稱ニ應スル修練ヲ爲スモノトス
 第十五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長	一名
副會長	一名
幹事長	一名
部長	十一名

但シ一名ニテ二部以上ヲ兼ヌルコトヲ得

會計審査員	二十四名
評議員	若干名
幹事	五名
主事	各部二名
委員	各部若干名

第十五條 但シ時宜ニヨリ臨時役員ヲ設クルコトアルヘシ

第五章 役員ノ選任

第十六條 會長ニハ本校校長ヲ推薦スニ...

第十七條 副會長幹事長及ヒ部長ハ贊助會員中ヨリ會長之ヲ依囑ス

第十八條 會計審査員ハ評議員中ヨリ會長之ヲ依囑ス...

第十九條 評議員ハ其十名ヲ贊助會員中ヨリ會長之ヲ依囑シ其他ハ各學級ヨリ一名ツ、選

出ス...

但シ研究科外國學生ヨリハ各學年ヨリ一名ツ、トス

評議員ハ幹事主事若シタハ委員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

贊助會員ノ評議員ハ部長ヲ兼ヌルコトヲ得

第二十條 幹事ハ通常會員中ヨリ選出スルモノトス

第二十一條 各部主事ハ當該部委員中ヨリ互選スルモノトス

第二十二條 各部委員ハ本科各年級ヨリ二名宛(體育科設置ノ場合ハ三名)専修科各年級ヨ

リ一名宛選出スルモノトス

第二十三條 臨時役員ハ贊助會員及ヒ特別會員中ヨリ會長之ヲ依囑シ若クハ通常會員中ヨ

リ幹事長之ヲ依囑ス

第六章 役員權限

第二十四條 會長ハ本會會務ヲ總理ス

第二十五條 副會長ハ會長ヲ補佐シ臨時必要ノ場合ニハ會長ニ代ツテ會務ヲ總理ス

第二十六條 幹事長ハ庶務及ヒ會計ノ事務ヲ統理ス

第二十七條 部長ハ當該部ノ事務ヲ統理ス

第二十八條 會計審査員ハ會計事務ヲ審査スルモノトス

第二十九條 會長副會長及ヒ評議員ハ評議員會ヲ組織シ第三十四條ニ定ムル事項ヲ議ス

第三十條 幹事ハ庶務會計ノ事務ヲ處理ス

第三十一條 主事及ヒ委員ハ當該部ノ事務ヲ處理ス

第三十二條 幹事長部長幹事及ヒ主事ハ主事會ヲ組織シ第三十七條ニ定ムル事項ヲ議ス

第三十三條 副會長幹事長部長會計審查員評議員幹事主事及ヒ委員ノ任期又ハ一ケ年トシ毎

年十二月中心ニ改選又ハ依囑スルニ依リ改選スルモトス

第二但シ翌年度豫算ノ決定卒業生送別會及ヒ第四十四條ニ關スル事項ヲ除クノ外ハ翌年三

二月ニ至ル迄舊役員各所定ノ任務ニ従事スルモノトス

第三役員ノ改選期ハ評議員會ノ決議ニヨリ會長ノ許可ヲ經テ一箇月以内變更スルコトヲ得

第八章 評議員會議
第三十四條 評議員會ノ決議スヘキ事項左ノ如シ
一 豫算ノ決定
一 本會豫算外支出ニ關スル件
一 本會規則ヲ改正スル件
一 其他特ニ重要ナル事項
但シ本條第一項豫算ノ決定ハ前以テ評議員ノ互選セル委員ノ審查ヲ經ルヲ要ス
第三十五條 評議員會ハ會長ヲ以テ議長トス

第三十六條 評議員會ノ決議ハ會長ノ許可ヲ經テ之ヲ執行スルモノトス

第九章 主事會議
第三十七條 主事會ノ議スヘキ事項左ノ如シ
一 豫算ノ編成
一 校友會大會、陸上大運動會、水上大運動會及ヒ卒業生送別會ニ關スル事項
一 第四十四條ニ關スル事項
一 本會會務ニシテ各部ニ通シテ關係スル事項

第三十八條 主事會ハ部長ノ一名ヲ以テ議長トス

第十章 會計
第三十九條 本會ハ會費寄附金及ヒ基本金ノ利子ヲ以テ歳入トシ一切ノ支出ヲ以テ歳出ト

ス
第四十條 普通歳入ハ豫算會議ニ於テ之ヲ定ム

第四十一條 本會基本金ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第四十二條 豫算外臨時支出ヲ要スルトキハ評議員會ノ決議ヲ要ス

第十一章 雜則

第四十三條 本會各部ノ細則ハ各部ニ於テ之ヲ定メ主事會ノ承認ヲ經ヘシ

第四十四條 本會ニ功勞アルモノ及ヒ本會各部ニ於テ技能特ニ拔群ノモノニ對シテハ相當ノ方法ニヨリ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

第四十五條 本會ノ贊助會員ニシテ本校ヲ去ルモノニハ紀念品ヲ贈呈スルコトアルヘシ

第四十六條 本會會員ニシテ死去シタルトキニハ弔詞或ハ弔慰金ヲ贈ルモノトス

第四十七條 本會ノ目的ヲ賛成シ寄附ヲ申込ム者アルトキハ會長ノ許可ヲ受ケ之ヲ受理スルコトアルヘシ

第四十八條 本會規則ヲ改正シ又ハ修正セントスルトキハ本會役員十名以上又ハ會員三十名以上ノ同意ニヨリ評議員會ニ提出スルコトヲ得

第三十條 本會ノ主事會ハ本會ノ事務ヲ掌理スルコトヲ得

第三十一條 本會ノ主事會ハ本會ノ事務ヲ掌理スルコトヲ得

第三十二條 本會ノ主事會ハ本會ノ事務ヲ掌理スルコトヲ得

第三十三條 本會ノ主事會ハ本會ノ事務ヲ掌理スルコトヲ得

第三十四條 本會ノ主事會ハ本會ノ事務ヲ掌理スルコトヲ得

第三十五條 本會ノ主事會ハ本會ノ事務ヲ掌理スルコトヲ得

第三十六條 本會ノ主事會ハ本會ノ事務ヲ掌理スルコトヲ得

三 校友會基本金規定

第一條 本會ハ其基礎ヲ鞏固ニシ事業ノ發達ヲ圖ランカ爲ニ基本金ヲ蓄積ス

第二條 基本金ハ本會通常會計ト區分シ特別會計ヲ設置ス

第三條 基本金原資ハ何等ノ事情アルモ之ヲ費消スルコトヲ得ス

第四條 基本金ヨリ生スル利子ハ本會通常會計ニ編入ス

第五條 基本金ハ有價證券又ハ現金ヲ以テ保管シ其利殖ノ方法ハ會長ニ於テ評議員會ニ諮詢シ之ヲ定ム

第六條 基本金ハ通常會員ノ醸金贊助會員並ニ特別會員ノ寄附金及ヒ本會會計剩餘金ヲ積立ツルモノトス

第七條 通常會員ハ基本金トシテ毎年九月中旬金一圓ヲ醸出スルモノトス

第八條 會員以外ノ者ヨリ基本金ノ中へ寄附ヲ申込ムトキハ會長ノ承認ヲ經テ之ヲ受納スルコトアルヘシ

第九條 基本金ニ關スル事務ハ本會會計之ニ任ス

第十條 基本金ニ關スル公告ハ校友會會誌ヲ以テス

第十一條 本規定ハ評議員ニ於テ出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ得更ニ賛助會員及通常會員ノ總會ヲ開キ其出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ會長ノ許可ヲ經ルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

前項評議員會及ヒ總會ハ少クモ一週間以前ニ開會ヲ豫告スルヲ要ス

第十二條 本規定ハ明治三十六年度ヨリ實施ス

第六條 本會ハ臨時評議員ニ由リ臨時總會ヲ開キ其決議ハ本會會務執行會ニ對シテ之ヲ執行ス

第七條 本會ハ臨時評議員ニ由リ臨時總會ヲ開キ其決議ハ本會會務執行會ニ對シテ之ヲ執行ス

第八條 本會ハ臨時評議員ニ由リ臨時總會ヲ開キ其決議ハ本會會務執行會ニ對シテ之ヲ執行ス

第九條 本會ハ臨時評議員ニ由リ臨時總會ヲ開キ其決議ハ本會會務執行會ニ對シテ之ヲ執行ス

第十條 本會ハ臨時評議員ニ由リ臨時總會ヲ開キ其決議ハ本會會務執行會ニ對シテ之ヲ執行ス

三 對式會基本金財宝

四 校友會入會金規定

第一條 本會ノ基礎ヲ鞏固ニシ其發達ヲ圖ランタメ入會金ヲ蓄積ス

第二條 入會金ハ本會通常會計ト區別シ特別會計法ヲ設置ス

第三條 入會金ハ有價證券又ハ現金ヲ以テ保管シ其利殖ノ方法ハ會長會計審査委員ニ諮詢シ之ヲ定ム

第四條 入會金原資及其利子ノ支出ハ評議員會ノ決議ヲ經ルヲ要ス

第五條 此規定ハ明治三十八年度ヨリ施行ス

五 對式會務執行會基本金財宝

第六條 對式會務執行會ハ本會會務執行會ノ決議ヲ經テ其職務ヲ執行ス

第七條 對式會務執行會ハ本會會務執行會ノ決議ヲ經テ其職務ヲ執行ス

第八條 對式會務執行會ハ本會會務執行會ノ決議ヲ經テ其職務ヲ執行ス

第九條 對式會務執行會ハ本會會務執行會ノ決議ヲ經テ其職務ヲ執行ス

第十條 對式會務執行會ハ本會會務執行會ノ決議ヲ經テ其職務ヲ執行ス

五 校友會特別資金規定

第一條 短艇(若クハ之ニ代ルモノ)ノ建造並ニ游泳部ノ擴張ノ爲メ各特別資金ヲ設ク
 第二條 特別資金ハ本會通常會計ト區別シ特別會計ヲ設置ス
 第三條 特別資金ハ毎年通常會計中ヨリ支出蓄積スルコトトシ其ノ額ハ豫算會議ニ於テ決定スルモノトス
 第四條 特別資金ハ有價證券又ハ現金ヲ以テ保管ス
 第五條 特別資金ヨリ生スル利子ハ該當金ニ繰込ムモノトス
 第六條 特別資金ノ支出ハ評議員會ノ決議ヲ經ルヲ要ス
 第七條 本規程ハ評議員會ノ決議ヲ經ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス
 第八條 本規程ハ明治四十四年度ヨリ實施ス

四 對大會入會金規定

第一條 本會ハ本會設立時ニ定メタル入會金ヲ徵ス
 第二條 本會ハ本會設立時ニ定メタル入會金ヲ徵ス
 第三條 本會ハ本會設立時ニ定メタル入會金ヲ徵ス
 第四條 本會ハ本會設立時ニ定メタル入會金ヲ徵ス
 第五條 本會ハ本會設立時ニ定メタル入會金ヲ徵ス
 第六條 本會ハ本會設立時ニ定メタル入會金ヲ徵ス
 第七條 本會ハ本會設立時ニ定メタル入會金ヲ徵ス
 第八條 本會ハ本會設立時ニ定メタル入會金ヲ徵ス

六 役員選舉內規

第一條 本會細則第二十條ニ於ケル幹事選舉ハ次ノ規定ニヨル
 文科及理科本科三年各一人、文科及理科本科二年各一人、體育科本科三年同本科二年及專修科最終學年ヲ通シテ一人トスルコト
 第二條 本會細則第二十一條ニ於ケル各部主事ノ選舉ハ次ノ規定ニヨル
 本科三年若クハ專修科最終學年ヨリ一人、本科二年若クハ專修科最上級ニ亞ク學年ヨリ一人ヲ當該部委員中ヨリ互選スルコト
 但特別ノ事情アル時ハ其部ニ限り此例ニヨラサルコトヲ得其場合ハ事由ヲ具シテ主事會議ノ承認ヲ經ルヲ要ス
 第三條 本會細則第二十二條各部委員選出ニ關スル規定中本科選出委員ニ限り雜誌部ハ文科在學ノモノタルヘク他ハ文科在學、理科在學、體育科在學各一名ツツトス

第一條 本會は、
 第二條 本會は、
 第三條 本會は、
 第四條 本會は、
 第五條 本會は、
 第六條 本會は、
 第七條 本會は、
 第八條 本會は、
 第九條 本會は、
 第十條 本會は、

六 役員選舉内規

第三 弔慰會

弔慰規約

(明治四十五年三月改定)

第一條 職員ハ弔慰ノ費用ニ充ツル爲メ毎年二回(四、十月)各自俸給若ハ手當百分ノ一ヲ醸金スルモノトス

第二條 醸金ヲ支出スヘキ場合及其ノ金額標準ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一、本人死亡 金貳拾圓
- 一、父、母死亡、配偶者死亡、本人病氣(重症又ハ二ヶ月以上ニ亘リタルトキ) 金拾圓
- 一、子(同月齢内ノモノニ限ル)死亡、本校生徒死亡、校僕死亡 金五圓
- 一、現住宅災厄 金拾圓以内
- 一、校僕災厄 金五圓以内

第一條ノ醸金ヲ爲サ、ル職員及備外國人ニ對スル弔慰ニ關シテハ世話人ノ協議ニ依リテ之ヲ定ム(大正元年十月追加)

第三條 前條ノ弔慰金ハ場合ニ依リ當該金額ノ範圍内ニ於テ相當ノ物品ヲ贈ルコトアルヘシ

- 第四條 醜金ハ之ヲ確實ナル銀行ニ預金トシテ保管スルモノトス但シ五拾圓以内ノ金額ヲ支出備金トシテ現金ニテ保管スルコトヲ得
- 第五條 醜金ニ不足ヲ生シタルトキハ臨時徴收スルコトアルヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ期日及金額ヲ豫メ總員ニ通知スルモノトス
- 第六條 本校幹事、附屬學校主事、生徒監及本校教官二人並庶務會計兩課長ヲ世話人トシテ本規約ノ施行ニ關スル一切ノ事務ヲ委囑スルモノトス
- 第七條 世話人ハ毎年四月ニ於テ前年度ニ於ケル收支ノ決算報告ヲナスモノトス
- 第八條 本規約ヲ改正スルニハ職員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルヲ要ス
- 第九條 本規約ハ明治四十五年四月一日ヨリ施行ス

第三 金曜會

第四 金曜會

金曜會例規 (明治三十六年六月設立)

- 一、本會ハ職員ノ親睦ヲ目的トス
- 二、本會ハ主トシテ教授助教講師ヲ以テ會員トス
- 三、本會ニ常任幹事一名當番幹事四名ヲ置キ當番幹事ハ前回幹事ノ指名ニ依リ輪番交代ス
- 四、本會ハ毎年約五六回幹事ニ於テ適宜ノ時機ヲ見計ラヒ開會ス
- 五、會員ハ會費トシテ毎月金參拾錢ヲ齎出ス
- 六、前項ノ金額ハ毎月之ヲ積立テ置キ開會ノ節費用ノ補助ニ充ツ

第六 東京高等師範學校圖書增加累年比較表(自明治三十三年度)至大正五年度

年 度	和漢洋書		和		漢		洋		計	
	部	冊	部	冊	部	冊	部	冊	部	冊
明治三十三年度未現在	10,433	6,447	4,407	4,040	6,026	14,870	3,096	4,644	3,096	4,644
明治三十四年度未現在	10,849	6,765	4,781	4,419	7,339	15,573	3,442	4,944	3,442	4,944
明治三十五年度未現在	11,433	6,983	5,355	4,993	8,033	16,657	3,742	5,442	3,742	5,442
明治三十六年度未現在	11,691	7,033	5,551	5,189	8,455	17,333	3,938	5,642	3,938	5,642
明治三十七年度未現在	13,900	7,333	5,940	5,578	8,933	17,880	4,242	6,042	4,242	6,042
明治三十八年度未現在	13,306	7,199	5,969	5,607	9,045	18,395	4,438	6,242	4,438	6,242
明治三十九年度未現在	13,549	7,379	6,193	5,821	9,464	18,741	4,634	6,442	4,634	6,442
明治四十年度未現在	13,884	7,535	6,554	6,192	10,068	19,446	4,830	6,642	4,830	6,642
明治四十一年度未現在	13,556	7,427	6,493	6,141	10,961	20,179	5,026	6,842	5,026	6,842
明治四十二年度未現在	13,670	7,687	7,329	7,017	11,556	20,831	5,222	7,042	5,222	7,042
明治四十三年度未現在	14,445	7,855	7,553	7,241	12,358	23,047	5,418	7,242	5,418	7,242
明治四十四年度未現在	14,857	7,958	7,854	7,542	14,017	23,711	5,614	7,442	5,614	7,442
大正元年度未現在	16,003	8,333	8,304	8,033	14,553	24,311	5,810	7,642	5,810	7,642
大正二年度未現在	16,461	8,598	8,781	8,517	15,333	25,357	6,006	7,842	6,006	7,842
大正三年度未現在	16,884	8,776	9,140	8,876	15,844	26,044	6,202	8,042	6,202	8,042
大正四年度未現在	17,474	8,884	9,630	9,366	16,800	27,107	6,398	8,242	6,398	8,242
大正五年度未現在	17,900	8,933	10,084	9,820	17,333	27,751	6,594	8,442	6,594	8,442

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

第七 東京高等師範學校經費累年比較表(自明治六年度至大正六年度)

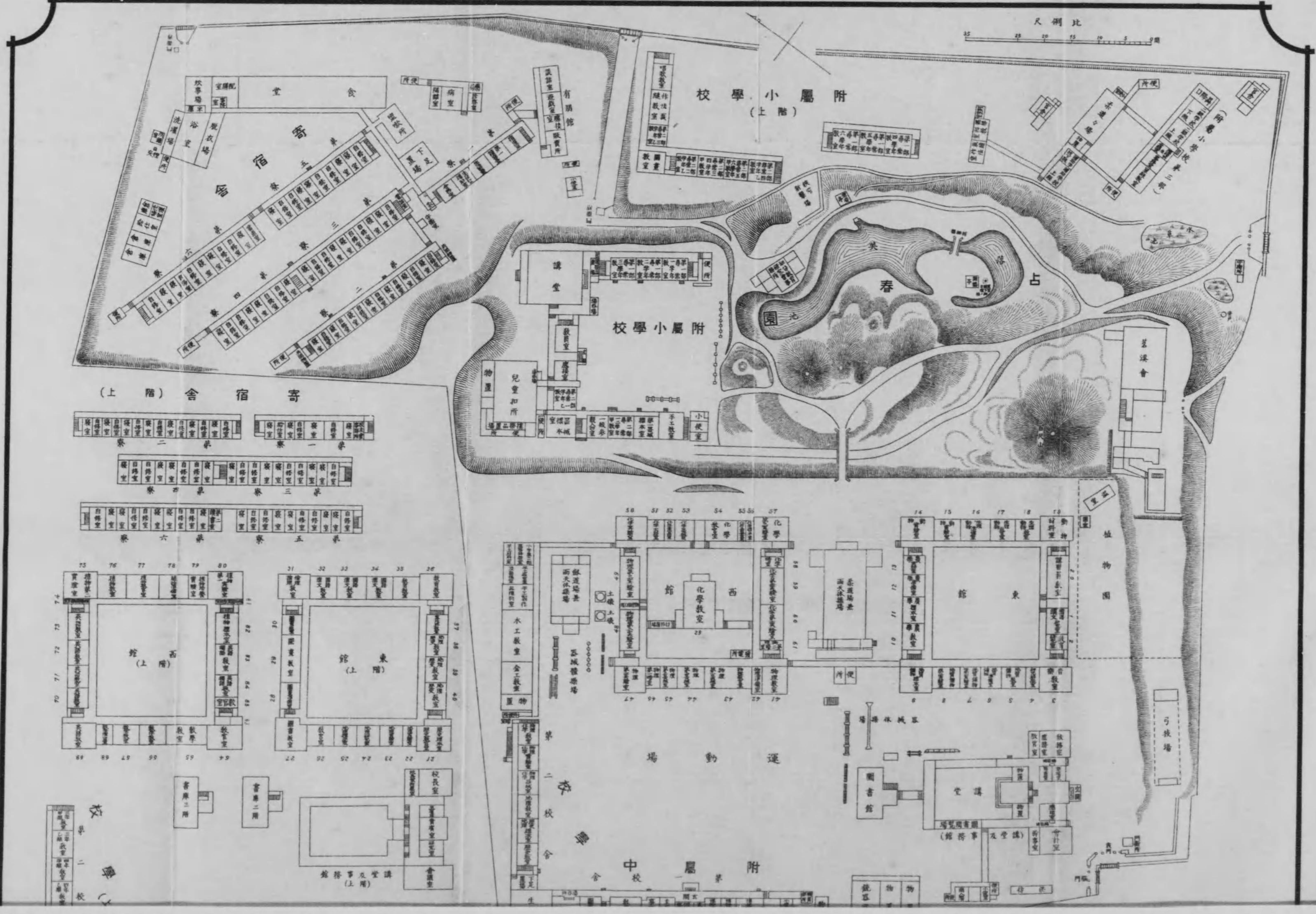
年 度	俸 給	校 館	雜 費	備外國人諸給	合 計
明治六年度					二〇、五一三
明治七年度					三〇、四〇二
明治八年度					二五、一五
明治九年度					四四、三三九
明治十年度					三五、九五七
明治十一年度					四三、一二六
明治十二年度					三八、八三〇
明治十三年度					三二、七六九
明治十四年度					三四、一三六
明治十五年度					三七、五六八
明治十六年度					四九、二五〇
明治十七年度					五六、一八七
明治十八年度					五七、七三四
明治十九年度					六一、八六二
明治二十年度					六二、六一二
明治二十一年度					五八、六九五
明治二十二年度					五五、四七九
明治二十三年度	二六、二五二	四、八一三	九、六四三	二、四〇〇	四三、一〇八
明治二十四年度	二七、六四八	三、六二九	九、三七一	〇	四〇、四六八
明治二十五年度	二七、六六四	三、一一〇	九、六六七	〇	四〇、四四一
明治二十六年度	二九、七二一	三、九五三	八、二一四	〇	四一、八八八
明治二十七年度	二八、九二三	四、七七四	八、一八九	〇	四一、八八六
明治二十八年度	二九、八九三	六、二一一	九、九一五	一、九二七	四七、九四六
明治二十九年度	三三、二七七	七、八四九	一一、四一六	二、四〇〇	五四、九四二
明治三十年度	四四、四三〇	一一、三八二	一七、五〇〇	五、五三六	七九、八四八
明治三十一年度	五一、〇四七	一六、〇六〇	二七、六七七	六、六〇〇	一〇一、三八四
明治三十二年度	七四、一〇四	二二、七〇七	三八、一〇五	九、〇〇〇	一四三、九一六
明治三十三年度	七七、四六四	二七、五四五	四三、一七八	九、一〇〇	一五七、二八七
明治三十四年度	八一、九〇五	三一、四五七	五四、五九七	八、九九〇	一七六、九四九
明治三十五年度	八七、四六九	三四、二二一	六四、四六〇	八、九七六	一九五、一二六
明治三十六年度	八七、五一三	三四、二八七	六六、九四一	九、三七六	一九八、一一七
明治三十七年度	八八、四一四	三四、二六六	六〇、六一三	八、五七七	一九一、八七〇
明治三十八年度	八七、一〇四	三〇、九一八	五二、六二七	八、七一九	一七九、三六八
明治三十九年度	八八、五七五	三四、九六九	四九、二五九	九、八八九	一八二、六九二
明治四十年度	九一、一八一	三五、七六〇	四五、八六一	九、七〇〇	一八二、五〇二
明治四十一年度	九一、二六四	三九、九三八	四六、九七〇	八、六二四	一八六、七九六
明治四十二年度	九〇、四二五	四〇、五五五	四六、三二二	八、七〇〇	一八六、〇〇二
明治四十三年度	一〇七、七九五	四三、三九〇	五一、八一	八、七〇〇	二一一、六九六
明治四十四年度	一一〇、四二一	四五、七六三	五一、三七四	九、〇〇〇	二一六、五五八
大正元年度	一一二、五五六	四六、六八二	五四、七七五	九、八〇六	二二三、八一九
大正二年度	一一〇、三七八	四一、九九三	四七、七四九	九、〇〇〇	二〇九、一二〇
大正三年度	一〇九、三六三		七八、一三四	六、〇〇〇	一九三、四九七
大正四年度	一〇七、四五八		六九、八三二	六、〇〇〇	一八三、二九〇
大正五年度	一〇九、二七五		六〇、六〇八	五、九六六	一七五、八四九
大正六年度	一〇九、五四〇		五六、二九〇	六、〇〇〇	一七一、八三〇

備考

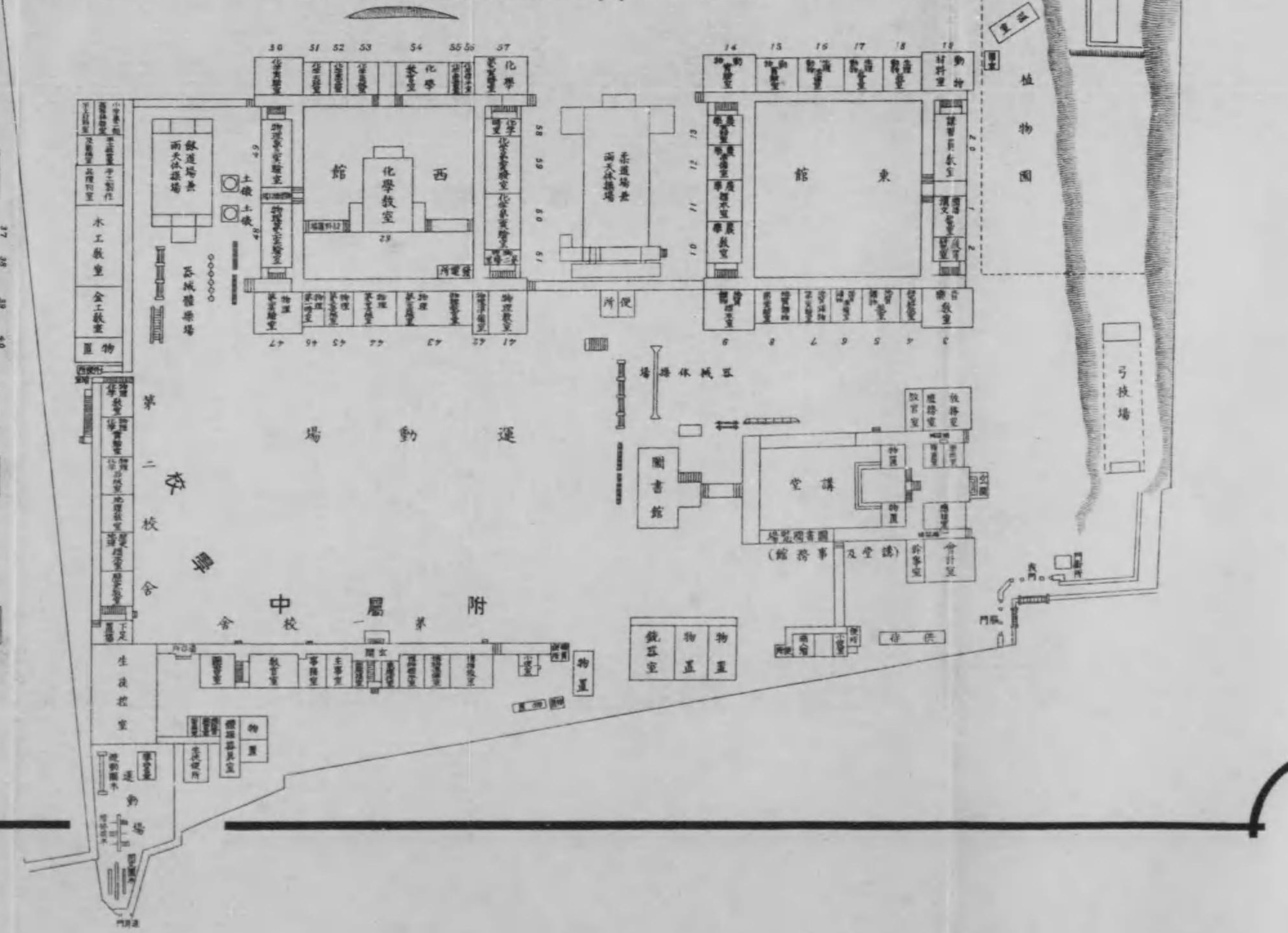
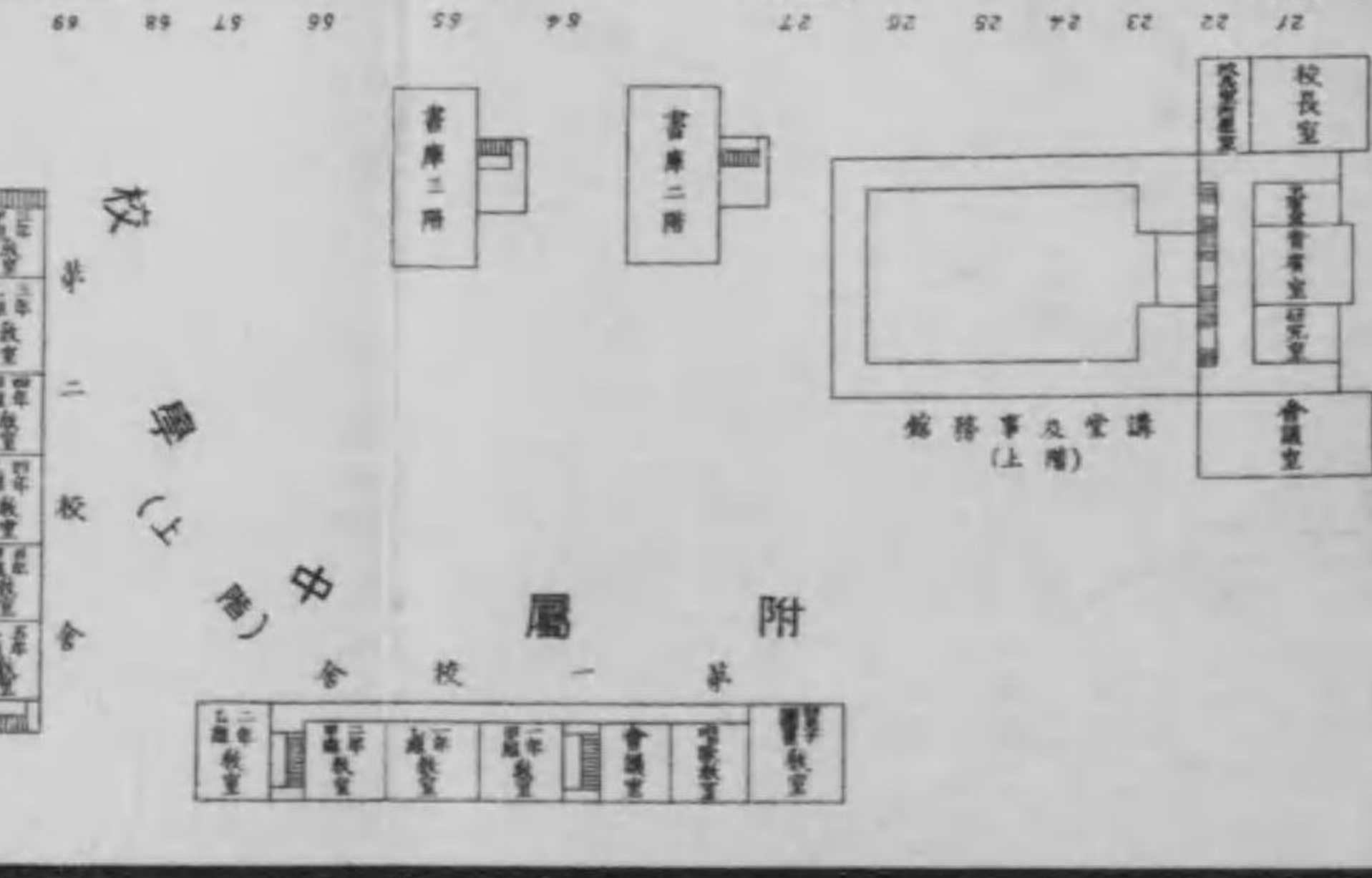
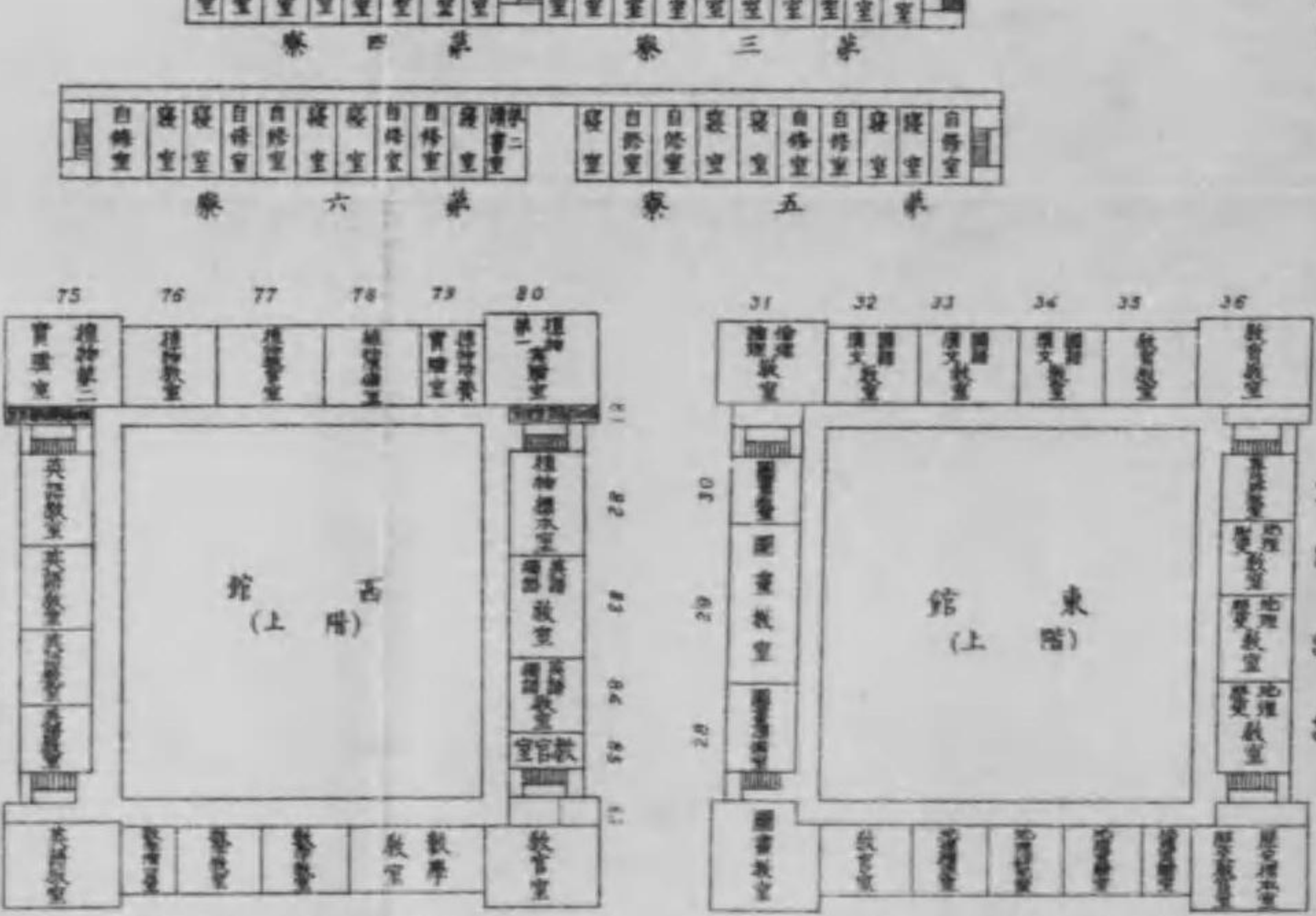
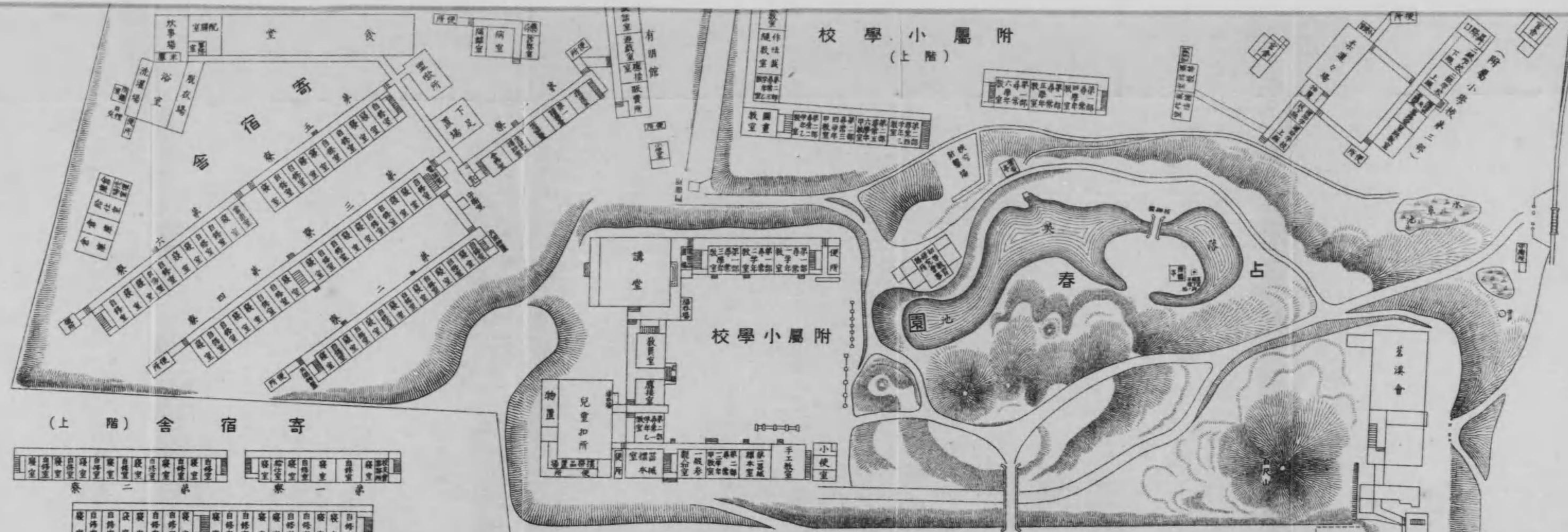
一、二十二年以前ノ經費内譯ハ明ラカナラサルニ付之ヲ省ク
 一、本表ハ各年度ノ經常費決算額(大正六年度ハ豫算額)ヲ掲ク
 一、各科目中主ナル費途左ノ如シ

俸 給 (教官、講師及事務官ノ俸給) 應 費 (圖書、機械、標本、器具、消耗品ノ費額) 雜給及雜費 (旅費、學資、修學旅行費、雇員及備入ノ給料等)

東京高等師範學校略圖 (小石川區塚町) 總地二千五百五十九坪 總建築費一千二百一十一萬三千五百五十九圓



東京高等師範學校設計事務所 設計



附屬中學(附屬小學)校舍圖

大正六年十二月廿六日印刷
大正六年十二月廿八日發行

東京高等師範學校

電話
本 寄 附
校 舍 校
小石川 小石川 小石川 小石川
七七六一 七七六一 七七六一 七七六一
二〇〇八 二〇〇八 二〇〇八 二〇〇八

印 刷 者 島 連 太 郎
印 刷 所 三 秀 舍
賣 所 丸 善 株 式 會 社
同 支 店 大阪、京都、福岡、仙臺

東京市神田區美土代町二丁目一番地

東京市神田區美土代町二丁目一番地

東京市日本橋區通三丁目十四番地

大阪、京都、福岡、仙臺

274
別庫
16

終